



新しい発想で考える
アルプスのまち
豊かな未来・自然・暮らし

飯島町第6次総合計画

長野県飯島町

こうありたい 将来の飯島町

新しい発想で考える アルプスのまち

豊かな未来・自然・暮らし

暮らしを支える
強靱で快適な
ライフラインの創造

住民と行政の創合力に
よる 安全で安心な
まちづくり

美しく快適な
暮らしの環境を
将来へつなぐ

将来像を実現する
創造力にあふれた
行政基盤づくり

誰もが健康で
居場所と出番があり
共に支え合える地域づくり



資源の地産地消で
地域を活性化する
『飯島ルネサンス
「環境循環ライフ構想」
プロジェクト』

人口減少に
歯止めをかける
『人口増プロジェクト』

「子どもの元気」と
「学びの力」で
いきいき豊かな暮らし

地域特性を生かした
産業の創造と
振興のまちづくり

魅力向上で
住みたい・住み続けたい
地域づくり



目次

I	はじめに	6
1	計画の趣旨	7
	(1) 計画の趣旨	7
	(2) 計画の位置づけ	7
	(3) 計画の期間	8
	(4) 計画の構成	8
2	計画の背景	9
	(1) 人口対策	9
	(2) リニア中央新幹線と三遠南信自動車道の開通	10
	(3) 超スマート社会への適応	11
	(4) 新たな感染症の脅威と「新しい生活様式」	12
	(5) 将来にわたって暮らしやすいまちであるために	13
II	まちの将来像	14
1	まちの将来像	15
2	将来像に向けた取り組みの構成	16
	(1) 分野別基本施策	16
	(2) プロジェクト	16
3	第6次総合計画の体系	17
III	分野別基本施策	20
1	住民と行政の創合力による 安全で安心なまちづくり	21
	(1) 災害に備えた防災体制の充実(危機管理)	22
	(2) 住民主体の防災力アップ(危機管理)	22
	(3) 新たな時代の消防団づくり(危機管理)	23
	(4) 先端技術を活用した未来のサービスづくり(文書情報)	23
	(5) 効果的で速やかな情報発信(文書情報)	24
	(6) 安心して暮らせる地域公共交通の確保(庶務)	24
	(7) 未来を担う職員の育成と役場機能の効率化(庶務)	25
2	美しく快適な暮らしの環境を 将来へつなぐ	27
	(1) 低炭素・循環型のまちづくり(生活環境)	28



(2) ごみの少ない暮らしづくり(生活環境)	28
(3) 接客ホスピタリティー向上(住民)	29
(4) 公平で適正な税収の確保(税務・収納対策)	29
3 誰もが健康で居場所と出番があり 共に支え合える地域づくり	31
(1) 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健体制(保健医療)	32
(2) 「生涯健康」支援(保健医療)	32
(3) いつでも安心な地域医療体制づくり(保健医療)	33
(4) みんなが支え合う地域福祉の実現(地域福祉)	33
(5) 障がいの有無にかかわらず幸せに暮らせるまちづくり(地域福祉)	34
(6) 高齢者も自分らしく暮らせるまちづくり(高齢者福祉)	34
4 地域特性を生かした 産業の創造と振興のまちづくり	35
(1) 将来を見据えた農地の有効利用(農政)	36
(2) 地域の協力による農作業の効率化(農政)	36
(3) スマート農業の推進(農政)	37
(4) 就農希望者への積極支援(農政)	37
(5) 地域資源を生かした農業の展開(農政)	38
(6) 農業生産基盤の整備(農政・耕地林務)	38
(7) 地域の特徴を生かした企業誘致(商工)	39
(8) 賑わう商店と買い物環境づくり(商工)	39
(9) 新しいワークスタイルの推進と起業支援(商工)	40
(10) スマート林業の推進(耕地林務)	40
(11) 治山・治水による森林の機能向上(耕地林務)	41
(12) 有害鳥獣等対策の推進(耕地林務)	41
5 暮らしを支える 強靱で快適なライフラインの創造	43
(1) 暮らしを支える道路の整備(建設)	44
(2) 安全・安心の河川整備(建設)	44
(3) 将来を見据えた都市づくり(調査計画)	45
(4) 住宅施策と空き家対策(調査計画)	45
(5) 地籍調査事業の推進(調査計画)	46
(6) 安全で安心な水道の確保(水道)	46
(7) 快適で衛生的な下水道・浄化槽の推進(水道)	47
6 魅力向上で住みたい・住み続けたい地域づくり	49
(1) 町の魅力を生かした観光地域づくり(魅力デザイン)	50
(2) 儲かる飯島町の創出(魅力デザイン)	50
(3) 若者や子育て世代の人口を増やす(定住促進)	51
(4) 若い世代の結婚を応援(定住促進)	51

(5) 住民参加で盛り上げるコミュニティ機能の充実(地域).....	52
(6) 将来を見据えた自治組織への支援(地域).....	52
7 「子どもの元気」と「学びの力」で いきいき豊かな暮らし.....	53
(1) 子どもの健やかな体と豊かな心を育てる(こども).....	54
(2) 学校教育の充実(こども).....	54
(3) 子どものための家庭環境づくりの支援(こども).....	55
(4) 学ぼう「知ること・為すこと・共に生きること」(生涯学習).....	55
(5) スポーツライフ「いつでも・どこでも・いつまでも」(生涯学習).....	56
(6) 芸術・文化を守りつなぐ(生涯学習).....	56
8 将来像を実現する 創造力にあふれた行政基盤づくり.....	57
(1) 将来像を目指す仕組みづくり(企画調整).....	58
(2) 住民ニーズに応える行政改革(企画調整).....	58
(3) 効果的・効率的な財政運営(財政).....	59
(4) 公共施設の適正管理・有効活用(財政).....	59
(5) 適正な会計事務(会計).....	60
(6) 議会・監査の支援(議会事務・監査事務).....	60
IV プロジェクトによる取り組み.....	62
1 飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト.....	63
2 人口増プロジェクト.....	64
資料.....	66
持続可能な開発目標SDGs.....	67
行財政改革プラン.....	68
地区懇談会での意見.....	73
第6次総合計画 策定体制.....	84
策定経過等.....	85
飯島町基本構想審議会名簿.....	89



Ⅰ はじめに

- 1 計画の趣旨
- 2 計画の背景



1 計画の趣旨

(1) 計画の趣旨

飯島町は、これまで、地方自治法に基づいた総合計画を5次にわたって策定し、住民のみなさんと共に総合的かつ計画的なまちづくりを進めてきました。

平成23年(2011年)5月に地方自治法の一部が改正され、それまで市町村の義務であった総合計画の策定は廃止されました。この改正は、地方分権をさらに進めることを目的としており、市町村には今まで以上の主体性や自主性を求めるものでした。

一方で、近年私たちの国は、かつて経験したことのない超少子高齢社会を迎えており、成長と拡大を前提としたこれまでの取り組みを見直さなければならない時代に直面しています。これまでの総合計画は法的な枠組みの中で、幅広い取り組みを網羅してきた一面もありましたが、今後は、長期的な展望の中で、まちの向かうべき方向を整え、必要な取り組みや限られた資源の配分を行っていく、総合的な計画が重要となっています。

こうした課題に対応しながら、飯島町が未来に向かって総合的なまちづくりを進めるために、住民、議会、行政などがその方向性や方策を共有し、一丸となって取り組む町の最上位の計画として、第6次総合計画を策定します。

(2) 計画の位置づけ

この計画は、次の性格を有します。

- ・ 飯島町の最上位の計画
- ・ 2030年の町の将来像を展望し、これを実現するための計画
- ・ まち・ひと・しごと創生法に規定する市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・ SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた指針
- ・ 町の将来像の実現に向けて必要な行財政改革の指針

※ 「まち・ひと・しごと創生法」とは、人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府と各地域が自律的で持続的な社会を創生することを目指す、2014年に施行された法律。



(3) 計画の期間

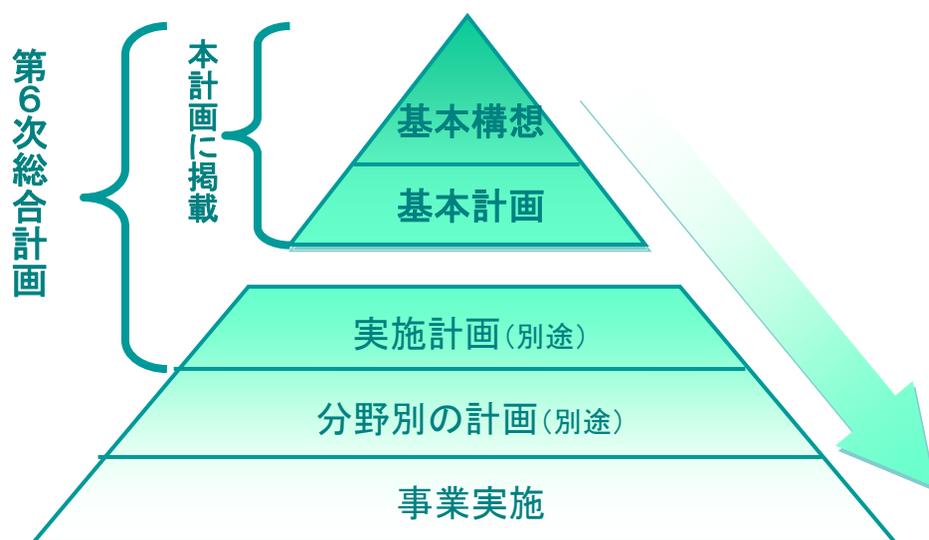
令和3年度(2021年度)から、令和12年度(2030年度)までの10か年計画とします。

ただし、状況等の変化により計画の見直しの必要性が生じた場合には、見直しを行うこととします。また、緊急を要する場合を除き、3年毎を目安に見直しの必要性を確認していきます。

(4) 計画の構成

第6次総合計画の構成は次のとおりです。

- (1)基本構想 本町が目指す将来像と、その実現に向けた方向性を示します。
- (2)基本計画 基本構想に基づいて進める施策を体系的に示します。
- (3)実施計画 基本計画に基づき、施策を具体的事業として明らかにします。

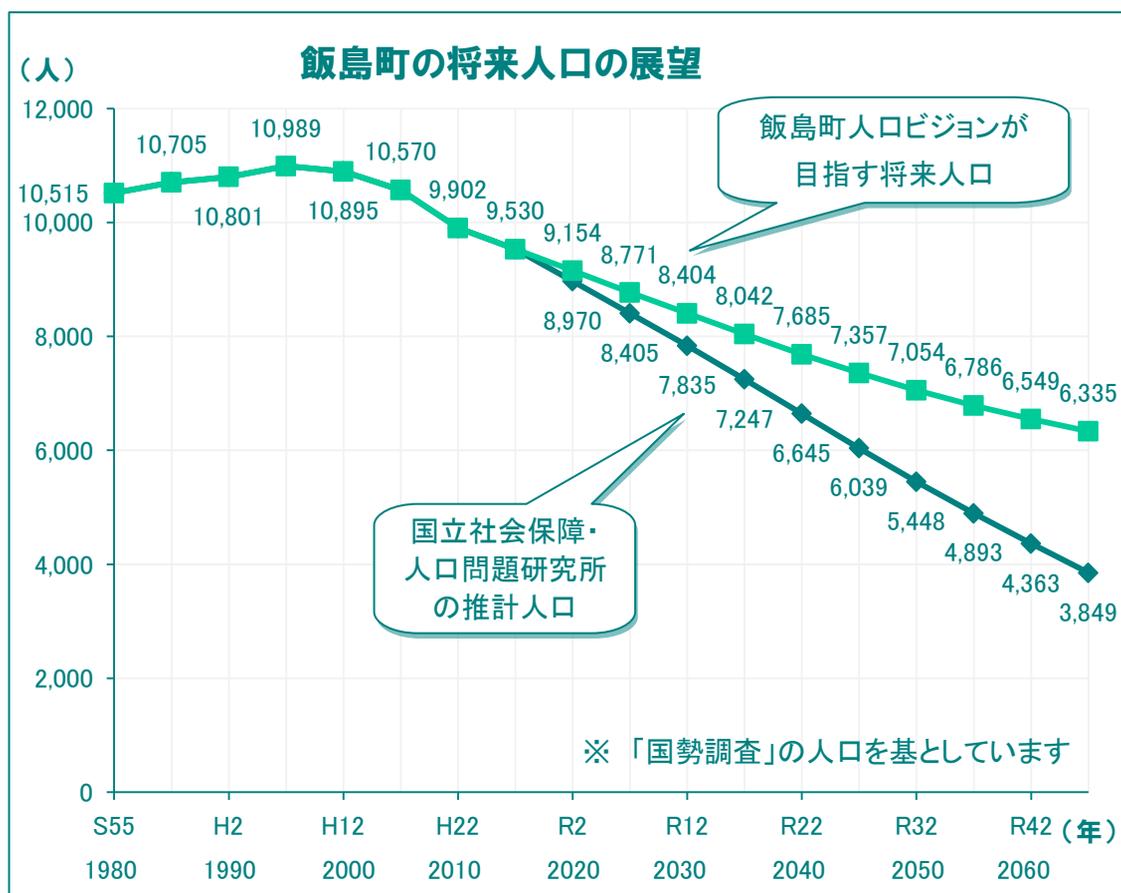


2 計画の背景

(1) 人口対策

日本全体が、平成 20(2008) 年をピークとして人口減少に転じたなか、飯島町の人口も減少傾向が続いています。人口減少は、地域経済が縮小するばかりでなく、住民経済力の低下につながり、地域社会の様々な基盤の維持を困難にするとされています。

今後、飯島町では妊娠・出産・子育て支援を強化することや、飯島町から転出した若い世代のUターンを促すこと等、様々な地方創生の取り組みにより、少子化に歯止めをかけ、緩やかな人口減少と年齢構成のバランスを維持した持続可能な地域の実現を展望します。





(2) リニア中央新幹線と三遠南信自動車道の開通

令和9年(2027年)に開通を予定しているリニア中央新幹線について、国では、三大都市圏が約1時間で結ばれ、世界からヒト、モノ、カネ、情報を引き付け、世界を先導するスーパー・メガリージョンが形成されることを期待しています。リニア中央新幹線と三遠南信自動車による対流の活発化と、それによる新たな価値の創造により、各地域を健全で活力のある関係で結び、抜本的なイノベーションを起こしていくことで、社会的課題の解決を一体的に達成し、これからの時代に相応しい新たな基盤づくりを目指しています。

飯島町は、リニア中央新幹線の中間駅周辺地域となります。多様な人材が行き交う新たな拠点となり、地域の強みを生かした新しい産業の創出や、大都市と地方にまたがるライフスタイルの提供等により、人やモノ、経済の新しい交流が生まれ、地域の活性化につなげていくことが期待されています。



(3) 超スマート社会への適応

国では、さまざまなモノがつながる超スマート社会、「ソサエティ5.0」の実現を目指しています。「ソサエティ5.0」では、コンピューターやネットワークの空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、社会的課題の解決を目指しています。

超スマート社会では、これまで困難とされてきた分野でも、IoTで全ての人とモノがつながり、新たな価値をうみだしていきます。少子高齢化や地方の過疎化がもたらす多くの課題で、技術的なイノベーションが課題を克服していくと言われています。進化するAIは、今まで困難や面倒が生じていた作業から人を解放していきます。加えて、人が行う作業が多く、その能力に限界があり、高齢者や障がい者の行動に制約があった分野では、ロボットや自動運転車などの支援により、人の可能性をひろげていきます。

飯島町は、この超スマート社会に適応していくことで、格差のない、ニーズに対応したサービスの提供につなげ、まちづくりの様々な課題の解決を目指します。

※ 「ソサエティ5.0」とは、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決が両立する人間中心の社会を目指す国の政策。

※ 「IoT」とは、Internet of Things の略で、様々な物がインターネットに繋がること、インターネットに繋がる様々な物。



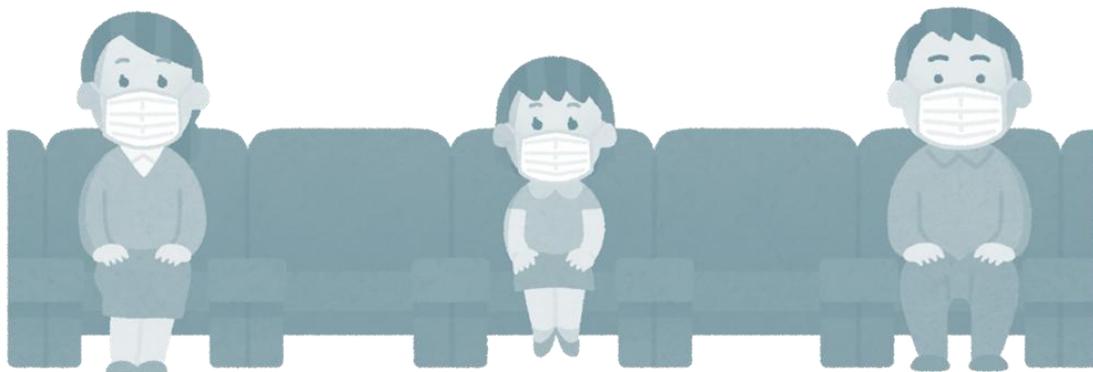


(4) 新たな感染症の脅威と「新しい生活様式」

令和2年4月、国内において新型コロナウイルス感染症の症例が多数に上り、かつ急速な増加が確認され、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が行われました。この宣言のもと、人々は移動を制限され、外出の自粛、人との接触機会の低減等が図られ、生活や仕事のスタイルは大きな変容を遂げました。後に、新規感染者数は減少傾向に転じ緊急事態は解除となりましたが、再度の感染拡大が予想されることや、新しい感染症の脅威も考えられることから、感染症対策を考慮した生活や仕事の仕方「新しい生活様式」への行動変容が求められることとなりました。

これらの経験を踏まえ、感染症に対しても強靱なまちであることが、将来にわたって暮らしやすいまちに不可欠となったことから、「新しい生活様式」に適応したまちづくりを進めていくことが必要とされています。

また、飯島町での生活は都市部での生活と比べ、人々が過密な状態になりにくいという観点から、暮らしやすいまちであることを生かした定住促進などにもつなげていきます。



(5) 将来にわたって暮らしやすいまちであるために

現代における飯島町は、経済の成長とともに発展してきました。かつての飯島は、「飯島と木島の米のとれ高によって長野県の米の相場が決まる」と言われたほど米作りが盛んで、農業を中心に町は発展しました。昭和45年(1970年)に、政府による米の生産調整が始まると、産業の中心は製造業に移っていきます。町では、企業振興が図られ、電子・精密機械業等が発展し、やがて迎えた高度成長とともに、雇用の確保や所得の向上、様々な業種の発展に繋がり、住民の生活向上やコミュニティの発展に大きく寄与しました。

その後、平成3年(1991年)に始まったバブル経済の崩壊や、平成20年(2008年)のリーマン・ショックと呼ばれる不況の煽りを受け、経済の成長が鈍くなると、そこに、少子高齢化と東京への一極集中が拍車をかけ、地域経済も長く停滞しました。さらに、令和2年(2020年)には、新型コロナウイルス感染症が蔓延し経済は混迷を極めています。

一方で、経済成長という利益を享受できた右肩上がりの時代は終わったとも言われています。現に、物質的な豊かさを追求する中で拡大してきた経済は、すでに地球の供給量を超え重大な環境問題に直面しています。また、これからさらに進むと言われる人口減少社会では、縮小する労働力の中で、培ってきた豊かさをどう支えていくのかが重要な課題となってきます。

今後は、限られた様々な資源を有効活用し、いかにまちづくりを進めていくかが鍵となります。飯島町は、ふたつのアルプスや豊かな自然に恵まれた、この土地ならではの資源を生かし、産業を育てるとともに、人間本来の営みや人と人との頼り合い、心の平穏を育み、経済活動を超えて豊かに暮らせるまちを目指します。そして、そのことは今後、多くの人を惹きつけながら、将来にわたって暮らしやすい持続可能な飯島町へと繋がります。





II まちの将来像

- 1 まちの将来像
- 2 将来像に向けた取り組みの構成
- 3 第6次総合計画の体系



1 まちの将来像

総合計画では、本町が目指す10年後の姿を「将来像」として示し、その将来像実現のために必要な基本目標や施策を明らかにしながら、計画全体の推進へと繋げていきます。

(まちの将来像)

新しい発想で考える アルプスのまち 豊かな未来・自然・暮らし

飯島町は、中央アルプスと南アルプスの、ふたつのアルプスが見える町です。ふたつのアルプスは、この地に清らかな水や空気、豊かな自然を育み、遠い昔から今日まで、町に暮らす私たちの営みに恩恵をもたらし、心を癒し、明日への活力を与え続けています。先人たちから受け継いだこのかけがえのない風土を、磨き上げながら次の世代へ引き継ぐことは、ここに暮らすみんなの変わらない願いと言えます。

日本全体が人口減少の時代を迎えました。人口減少による経済の縮小や、社会基盤の維持を心配する一方で、住民の多くは、人口数よりも考え方や暮らし方を見直していくことを提案しています。整備が進められるリニア中央新幹線や三遠南信自動車道は、この地に新しい対流を生み出すと言われていました。進化を続けるコンピュータやネットワーク技術は、今まで山間の地に暮らす私たちの社会的な課題の解決にも役立てられていきます。また、新型コロナウイルス感染症に端を発した「新しい生活様式」は、生活や仕事のスタイルに大きな変容をもたらし、対応が迫られた一方で、都市部にはない新しい価値観をこの町に生みだそうとしています。

今、時代は転換の時を迎えたと言われてしています。ふたつのアルプスをはじめとする自然との調和を保ちながら、ここに暮らすみんなが、新しい発想をもって、心の豊かさや幸せを実感できる、魅力あるまちづくりを実践していく。そういう姿にこそ、将来に渡って暮らしやすいまちがあると考え、まちの将来像を定めたものです。

2 将来像に向けた取り組みの構成

(1) 分野別基本施策

分野別基本施策は、まちの将来像を構成する要素を分野ごとに分け、それぞれの分野で実現すべき姿を掲げながら、必要な取り組みを基本施策として示し、推進を図っていきます。各取り組みは、行政や住民、自治組織、団体、事業者などが協力をして進めていくものとなりますが、計画の進捗管理は行政が中心となっていきます。

(2) プロジェクト

まちの将来像を実現するための取り組みのうち、特に分野を横断して取り組む必要がある施策をプロジェクトとして位置づけ推進を図っていきます。プロジェクトチームでは、関連する分野間の連携を図りながら、プロジェクトが目指す施策の実現を目指します。

【まちの将来像 参考】

「まちの将来像」を考えるにあたっては、令和元年度に町が行った『「第6次総合計画」策定のためのアンケート調査』の結果が参考とされています。アンケートでは、まちが目指すべき将来像イメージがキーワードとして次のとおり確認されました。

◇ まちの将来像イメージ

- | | |
|-----------------|---------------|
| 「新しい発想」 | 「アルプスや自然を生かす」 |
| 「交通の便の良さを生かす」 | 「安全・安心」 |
| 「のんびり」 | 「静かに暮らせる」 |
| 「将来にわたって暮らしやすい」 | |



3 第6次総合計画の体系

(将来像) 新しい発想で考える アルプスのまち

基本構想

1

住民と行政の
創合力による
安全で安心な
まちづくり

- (1) 災害に備えた防災体制の充実
- (2) 住民主体の防災力アップ
- (3) 新たな時代の消防団づくり
- (4) 先端技術を活用した未来のサービスづくり
- (5) 効果的で速やかな情報発信
- (6) 安心して暮らせる地域公共交通の確保
- (7) 未来を担う職員の育成と役場機能の効率化

2

美しく快適な
暮らしの環
境を将来へ
つなぐ

- (1) 低炭素・循環型のまちづくり
- (2) ごみの少ない暮らしづくり
- (3) 接客ホスピタリティー向上
- (4) 公平で適正な税收の確保

3

誰もが健康で居場
所と出番があり
共に支え合える
地域づくり

- (1) 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健体制
- (2) 「生涯健康」支援
- (3) いつでも安心な地域医療体制づくり
- (4) みんなが支え合う地域福祉の実現
- (5) 障がいの有無にかかわらず幸せに暮らせるまちづくり
- (6) 高齢者も自分らしく暮らせるまちづくり

4

地域特性を生かした
産業の創造と振興の
まちづくり

- (1) 将来を見据えた農地の有効利用
- (2) 地域の協力による農作業の効率化
- (3) スマート農業の推進
- (4) 就農希望者への積極支援
- (5) 地域資源を生かした農業の展開
- (6) 農業生産基盤の整備
- (7) 地域の特徴を生かした企業誘致
- (8) 賑わう商店と買い物環境づくり
- (9) 新しいワークスタイルの推進と起業支援

基本計画

(プロジェクト)

飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト
人口増プロジェクト



豊かな未来・自然・暮らし



5

暮らしを支える
強靱で快適な
ライフラインの創造

- (1) 暮らしを支える道路の整備
- (2) 安全・安心の河川整備
- (3) 将来を見据えた都市づくり
- (4) 住宅施策と空き家対策
- (5) 地籍調査事業の推進
- (6) 安全で安心な水道の確保
- (7) 快適で衛生的な下水道・浄化槽の推進



6

魅力向上で
住みたい・
住み続けたい
地域づくり

- (1) 町の魅力を生かした観光地域づくり
- (2) 儲かる飯島町の創出
- (3) 若者や子育て世代の人口を増やす
- (4) 若い世代の結婚を応援
- (5) 住民参加で盛り上げるコミュニティ機能の充実
- (6) 将来を見据えた自治組織への支援



7

「子どもの元気」と
「学びの力」で
いきいき
豊かな暮らし

- (1) 子どもの健やかな体と豊かな心を育てる
- (2) 学校教育の充実
- (3) 子どものための家庭環境づくりの支援
- (4) 学ぼう「知ること・為すこと・共に生きること」
- (5) スポーツライフ「いつでもどこでもいつまでも」
- (6) 芸術・文化を守りつなぐ



8

将来像を実現する
創造力にあふれた
行政基盤づくり

- (1) 将来像を目指す仕組みづくり
- (2) 住民ニーズに応える行政改革
- (3) 効果的・効率的な財政運営
- (4) 公共施設の適正管理・有効活用
- (5) 適正な会計事務
- (6) 議会・監査の支援

- (10) スマート林業の推進
- (11) 治山・治水による森林の機能向上
- (12) 有害鳥獣等対策の推進





Ⅲ 分野別基本施策

- 1 住民と行政の創合力による 安全で安心なまちづくり
- 2 美しく快適な暮らしの環境を 将来へつなぐ
- 3 誰もが健康で居場所と出番があり 共に支え合える地域づくり
- 4 地域特性を生かした 産業の創造と振興のまちづくり
- 5 暮らしを支える 強靱で快適なライフラインの創造
- 6 魅力向上で住みたい・住み続けたい地域づくり
- 7 「子どもの元気」と「学びの力」で いきいき豊かな暮らし
- 8 将来像を実現する 創造力にあふれた行政基盤づくり



《基本目標》

1 住民と行政の創合力による 安全で安心なまちづくり

(総務)

《基本的方向》

ふたつのアルプスに守られた豊かな自然環境の中で、将来にわたって住民みんなが安全で安心して暮らしていけるまちを目指します。

万一の災害に十分な備えを進めると共に、暮らしを支える公共交通機関の確保や役場機能の効率化を進めていきます。

《SDGsの主な指針》



目標指標	基準値	目標値
火災等消防団出動件数【回／年】	3 (R1)	3 以内
自然災害による死亡者数(延数)【人】	—	0



※「創合力」とは、住民と行政それぞれの創造力を合わせるという願いを込めた造語。



《具体的な施策》

(1) 災害に備えた防災体制の充実

(危機管理)

南海トラフ巨大地震などの震災や豪雨災害など、万一の災害に備え、防災体制や施設の整備・充実を図ります。

- ① 災害時情報発信の多元化
- ② 防災行政無線放送の難聴解消
- ③ 避難所の感染症対策と備蓄品の充実
- ④ 防災関連機器・設備の適正な管理と計画的な更新
- ⑤ 外国人、観光客など要配慮者への防災対策の対応
- ⑥ 指定緊急避難場所・指定避難所への非常用電源設置推進

目標指標	基準値	目標値
指定緊急避難場所・指定避難所への非常用電源設置率(屋内)【%】	84 (R1)	100

(2) 住民主体の防災力アップ

(危機管理)

万一の災害に備え、大規模災害発生直後には住民の自助・共助が不可欠となることから、住民の防災意識向上や自主防災会の防災力アップなどに取り組みます。

- ① 自主防災会等における防災・減災活動の推進
- ② 自主防災組織の担い手づくり・防災士資格取得の推進
- ③ 地区防災マップや地区防災計画等の整備

目標指標	基準値	目標値
自主防災会での防災講座の開催回数(延数)【回】	-	100

(3) 新たな時代の消防団づくり

(危機管理)

常備消防の充実により消防団の火災出動が減った一方で、地域との連携を図りながら様々な災害に対応できる消防団が求められています。消防団と地域との連携を強化しながら、将来を見据えた団事業の見直し等を進めていきます。

- ① 自主防災会との連携(顔の見える関係づくり)
- ② 自然災害への対応体制の強化
- ③ 消防団の機構改革に向けた研究
- ④ 消防団事業の改善に向けた研究
- ⑤ 団員確保に向けた取り組みと研究

目標指標	基準値	目標値
消防団と自主防災会との防災訓練等【回／年】	1	2

(4) 先端技術を活用した未来のサービスづくり

(文書情報)

新たな情報通信技術(ICT)を研究・活用し、暮らしを支える役場機能の効率化を進め、将来にわたって持続可能な行政サービスの構築を目指します。

- ① 行政文書のペーパーレス化の推進
- ② 行政手続のデジタル化の推進
- ③ AI・RPA等のICT活用による事務効率化の推進

目標指標	基準値	目標値
電子申請・届出システムに対応した様式数(延数)【件】	4 (R1)	30

- ※ 「AI」とは、「Artificial Intelligence」の略称で、「人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した当該機能の活用に関する技術」のこと。
- ※ 「RPA」とは、「Robotic Process Automation」の略称で、「これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの」のこと。
- ※ 「ICT」とは、「Information and Communication Technology」の略称で、「情報通信技術」のこと。



(5) 効果的で速やかな情報発信

(文書情報)

住民みんなが安全で安心して暮らせるために、行政からの情報を正確に、効果的かつ速やかに伝える情報発信を充実させます。

- ① 住民が必要とする情報の把握と研究
- ② 様々なツールを活用した町の魅力発信
- ③ 行政情報のデジタル化の推進

目標指標	基準値	目標値
飯島町公式ホームページへのアクセス件数 (セッション数)【件／年】	100,000 (R1)	150,000

(6) 安心して暮らせる地域公共交通の確保

(庶務)

将来にわたって住民みんなが日常の生活で困ることのないように、公共交通機関等を確保していきます。

- ① より利用しやすい地域循環バス運行形態の研究
- ② 通勤通学等の電車利用者の利便性の確保

目標指標	基準値	目標値
地域循環バス年間利用者数【人／年】	4,206 (R1 平均)	6,000

(7) 未来を担う職員の育成と役場機能の効率化

(庶務)

行政サービスが適確に機能する組織づくりのため、職員の人材育成を進めるとともに、事務事業の改革による役場機能の効率化を進めます。

- ① 接客ホスピタリティーの醸成
- ② 国、県、他市町村や企業との職員交流の実施
- ③ 各種研修や職員提案制度等の実施による、職員の企画、立案、実行力の向上
- ④ 広域連携による業務効率化の研究
- ⑤ AIやRPA等を活用したスマート事務システムの研究
- ⑥ 定員管理計画に沿った職員数管理
- ⑦ 有事の際に業務が継続できる施設整備や空間デザインの研究

目標指標	基準値	目標値
国、県等への研修派遣職員数(延数)【人】	—	10

※「接客ホスピタリティー」とは、おもてなし・思いやり・気配り等の意味で、接客への付加価値を表します。



《基本目標》

2 美しく快適な暮らしの環境を 将来へつなぐ

(住民税務)

《基本的方向》

ふたつのアルプスの麓、美しい自然にはぐくまれた生活環境は住民が共有するかけがえのない財産です。この恵まれた生活環境を保全し将来の世代に引き継いでいくまちを目指します。

また、住民の生活と行政の重要な接点でもある窓口や税の業務について、接客ホスピタリティーの向上を図るとともに、公平で効率的なサービスの最適化を目指します。

《SDGsの主な指針》



目標指標	基準値	目標値
飯島町の再生可能エネルギー比率【%】	23.5 (H28)	33.5



※ 「再生可能エネルギー比率」とは、町内の消費推計電力量に対して、再生可能エネルギーにより町内で作られた電力量の割合



《具体的な施策》

(1) 低炭素・循環型のまちづくり

(生活環境)

美しい自然にはぐくまれた快適で豊かな暮らしを実現し、将来の世代に引き継いでいけるよう、省エネルギーや再生可能エネルギーの普及促進をはじめとする環境施策を推進します。

- ① 再生可能エネルギーの普及促進
- ② 省エネルギーの推進
- ③ 地球温暖化防止に関する環境意識の醸成

目標指標	基準値	目標値
太陽光発電システム設置補助事業件数(延数) 【件】	310 (R1)	420

※ 家庭用発電量 10kw 以下のものが対象

(2) ごみの少ない暮らしづくり

(生活環境)

自然と生活の調和のとれた暮らしの実現を目指し、ごみ資源化への意識の向上とごみの排出量を減らす取り組みを進めます。

- ① ごみ分別の説明会の開催(地域、学校及び事業所)
- ② ごみ処理施設の見学会の開催
- ③ 転入者へのごみ出し方法の説明

目標指標	基準値	目標値
町民1人1日あたりの家庭ごみ排出量【g/日】	395 (R1)	376

(3) 接客ホスピタリティー向上

(住民)

窓口サービスをはじめとした行政サービスについては、より効率的で住民に寄り添ったサービスが提供できるよう、不断の改善に努めていきます。

- ① ワンストップサービスによる役場組織内の連携強化
- ② 窓口や接客改善のための定期的な組織内連携会議の開催
- ③ カウンターや待合ホールの改善
- ④ 他市町村や民間企業との窓口接客等の実地研修
- ⑤ マイナンバーカードの申請促進・庁外に出向いての申請サポート

目標指標	基準値	目標値
マイナンバーカード交付率【%】	12 (R1)	100

※「接客ホスピタリティー」とは、おもてなし・思いやり・気配り等の意味で、接客への付加価値を表します。

(4) 公平で適正な税収の確保

(税務・収納対策)

税に関する意識の向上と情報の発信を行いながら、適正な課税・徴税に努め、持続可能な行財政運営の基盤となる税収の確保を図ります。

- ① 課税精度の向上と未収金の縮減
- ② 固定資産税における全筆・全棟調査の実施・精度の向上
- ③ 税務申告等の手続の簡素化の研究

目標指標	基準値	目標値
町税収納率(現年度分)【%】	99.6 (R1)	100



《基本目標》

3 誰もが健康で居場所と出番があり 共に支え合える地域づくり

(健康福祉)

《基本的方向》

生涯を通じて、心も体も健康で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護などの関係機関が密に連携し、健康増進、疾病の予防・早期発見・早期治療、福祉の充実、介護への適切な対応ができるネットワークの構築を推進します。

《SDGsの主な指針》



目標指標	基準値	目標値
年間出生数【人／年】	55 (H29-R1 平均)	60
特定健診受診率(国民健康保険)【%】	59.0 (H30)	65.0
健康寿命(平均自立期間)男性【歳】	78.9 (R1)	80.7
健康寿命(平均自立期間)女性【歳】	85.2 (R1)	85.2



※ 健康寿命の目標値は、長野県数値(女性は 84.7 歳のため維持)に準じる。



《具体的な施策》

(1) 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健体制

(保健医療)

妊娠前から子育て期の相談体制を充実させ、母子の心と体の健康を守り、保護者が安心して育児ができる様、切れ目のない支援を実施します。

- ① 母子の心身の健康増進を目的とした新生児訪問、乳幼児健診等の実施
- ② 保健・医療・福祉・教育・地域の組織等との連携支援
- ③ 切れ目のない子育て支援の実現に向けた体制の充実

目標指標	基準値	目標値
新生児訪問の実施率【%】	100 (R1)	100
むし歯のない3歳児の割合【%】	91 (H30)	91
3歳児健診受診率【%】	100 (H30)	100

(2) 「生涯健康」支援

(保健医療)

生涯にわたり健康で充実した生活が送れるよう、生活習慣病の予防やこころの健康づくりに積極的に取り組み、誰もが生活の中で健康づくりに取り組むことが出来る住民参画の活動を進めます。

- ① 幼少期からの生活習慣病予防
- ② 年代に応じた疾病予防対策の充実
- ③ 地域や健康推進員と協力した健康づくりの取り組み
- ④ こころの健康に関する正しい知識や対処法の普及啓発
- ⑤ 健康のための運動習慣・食育活動の推進
- ⑥ 感染症に対応するための医療相談体制の整備と行動変容の支援

目標指標	基準値	目標値
がん検診受診率【%】	31.6 (R1)	40
精密検査受診率【%】	74.1 (R1)	80
地区・自治会健康教室参加数【人／年】	1,161 (R1)	1,500

※ 「がん検診受診率」は、胃・大腸・子宮・乳・肺がんの受診率平均

(3) いつでも安心な地域医療体制づくり

(保健医療)

いつでも安心して必要な医療福祉を受けられるよう、地域医療体制の充実を図ります。

- ① 上伊那地域や伊南地域との包括的な医療連携支援
- ② 感染症対策の推進
- ③ 災害時の医療体制の整備
- ④ 町内3師会(医師・歯科医師・薬剤師)と連携した地域医療の確保
- ⑤ 国民健康保険事業、後期高齢者医療事業の適正な運営
- ⑥ 福祉医療費による医療支援

目標指標	基準値	目標値
町内医療機関数(歯科含む)【施設】	8 (R1)	8

(4) みんなが支え合う地域福祉の実現

(地域福祉)

地域住民の理解・協力するなかで多様な担い手が地域福祉に参加し、誰もが住み慣れた環境で、地域の中で役割を持ち、自分らしく暮らし続けられることができる社会を目指します。

- ① みんなが地域づくりの主体として支え合う「新しいお互いさま」社会の推進
- ② 包括的に機能する相談・支援体制の整備
- ③ 地域を支える人材や団体の育成
- ④ 地域での居場所づくりの推進
- ⑤ 町社会福祉協議会との連携・協働
- ⑥ 民生児童委員との連携

目標指標	基準値	目標値
支え合いマップの定期更新率【%】	85 (R1)	100
各種サポーター養成数(延数)【人】	2,375 (R1)	3,200



(5) 障がいの有無にかかわらず幸せに暮らせるまちづくり

(地域福祉)

障がいのある人もない人もお互いの人格と個性を尊重し理解を深め、障がいの内容に関わらず、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまちづくりを目指します。

- ① 障がいのある人の権利を守る福祉サービスの充実
- ② 安全で暮らしやすい地域づくりと地域での支援体制の強化
- ③ 障がいのある人の社会参加の推進

目標指標	基準値	目標値
地域活動支援センター月間利用者数【人／月】	192 (R1)	200

(6) 高齢者も自分らしく暮らせるまちづくり

(高齢者福祉)

高齢になったり介護が必要になったりしても、培った人生経験や持てる力を発揮し、ともに支え合いながら生きがいを持って自分らしく暮らせるまちづくりを目指します。

- ① 高齢者の社会参加の推進と助け合い活動の創出
- ② 高齢者の生活支援体制整備の充実
- ③ 介護保険制度の適正な運営と保険者機能の強化

目標指標	基準値	目標値
要介護認定率【%】	14.6 (R1)	15.5 以下

《基本目標》

4 地域特性を生かした 産業の創造と振興のまちづくり

(産業振興)

《基本的方向》

ふたつのアルプスの恵みがもたらす農地や森林、水などの地域資源や、培ってきた伝統や文化を生かした、多様な産業による活力あるまちを目指します。

将来にわたって暮らしやすい町であるためには、そこに住みたいという想いだけでなく、暮らし続けるための「しごと」が必要です。地域の特性を生かしながら、新しい時代にも対応できる産業を創造していきます。

《SDGsの主な指針》



目標指標	基準値	目標値
地域経済循環率【%】	68.1 (H27)	70.0



※ 「地域経済循環率」とは、生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値であり、地域経済の自立度を示している。(値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。)



《具体的な施策》

(1) 将来を見据えた農地の有効利用

(農政)

力強く持続可能な農業の実現に向けて、優良な農地を確保するとともに、担い手への農地の集積・集約化を推進し、農地の有効利用を図ります。

- ① 5年～10年後の農地の利用意向調査の実施
- ② 計画的な農地利用の調整
- ③ 担い手や新規就農希望者とのマッチング

目標指標	基準値	目標値
意向調査の実施数(農業経営体)【件】	-	300

※ 「農業経営体」とは、世帯で農業を行う家族経営体と法人などの組織経営体に該当する者

(2) 地域の協力による農作業の効率化

(農政)

担い手法人や認定農業者が地域の農作業を十分に受託できる体制を整備するため、地区営農組合の農地利用調整により農地を団地化し作業の効率化を図るとともに、農地所有者の協力と草刈り隊の運用により畦畔管理の負担軽減を図ります。

- ① 地区営農組合による農地利用調整の推進
- ② 農地所有者の農地保全に対する意識の醸成
- ③ 担い手法人等の要請により地区営農組合が草刈り隊を派遣する仕組みづくり

目標指標	基準値	目標値
農地流動化率【%】	69.5 (R1)	80.0

※ 「農地流動化率」とは、経営耕地面積に対する借入耕地面積の割合

(3) スマート農業の推進

(農政)

担い手法人や認定農業者が地域の農作業を十分に受託できる体制を整備するため、農作業の機械化とスマート農業化の研究・支援を行い、効率的かつ安定的な農業を展開する経営体を育成します。

- ① RTK 基地局の活用推進によりスマート農業の普及を図る
- ② スマート農業に対応する農業支援情報システムの構築検討
- ③ 経営体の機械の導入、スマート農業化への支援

目標指標	基準値	目標値
スマート農業取り組み事例【件】	-	4

- ※ 「スマート農業」とは、ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化・精密化や高品質生産等の実現を推進している新たな農業。
- ※ 「RTK 基地局」とは、精度の高い農業機械の自動操舵を実現するため、衛星からの位置情報に加え補正情報を発信する基準局。

(4) 就農希望者への積極支援

(農政)

飯島町農業の担い手の一翼として期待される新規就農希望者を積極的に受け入れ、就農準備から経営開始後のアフターケアまで、関連機関と連携して支援します。

- ① 「アグリイノベーション 2030」の仕組みづくり
- ② 新規就農者の積極的な受け入れ・支援
- ③ 国、県、JA の就農支援制度を活用した研修や初期投資の負担軽減
- ④ 営農組合の農地利用調整による円滑な農地の貸借支援

目標指標	基準値	目標値
新規就農者数(延数)【人】	8 (R1)	15
新規法人経営体の形成(延数)【経営体】	-	1

- ※ 「アグリイノベーション 2030」とは、20 代・30 代の若い農業者が最先端技術と設備を駆使し、付加価値の高い農産物を生産する工業型農業を展開することにより、安定的で十分な収入と整った労働環境を築き、農業が若者にとって魅力的な産業として選択されることを目指すもの。



(5) 地域資源を生かした農業の展開

(農政)

付加価値が高く新しい時代に対応する作物の研究と、ふたつのアルプスの恵みがもたらす地域資源と自然環境を守る農業の取り組みにより、個性ある産地づくりと町農業のイメージアップを目指します。

- ① 消費者ニーズを中心に捉えた新たな振興作物の研究
- ② 6次産業化の展開による農業の高付加価値化を研究
- ③ 日曽圃場整備事業を生かしたブドウ等の新植を検討
- ④ 新たな振興作物としての柿の新植を検討
- ⑤ バイオマス発電施設の排熱を利用した付加価値の高い農産物生産を研究
- ⑥ 耕作条件が不利な水田の畑化の検討
- ⑦ ミヤマシジミとコマツナギを保全する畦畔管理の推進
- ⑧ ビオトープや水田の冬期湛水による生物多様性環境の保全
- ⑨ グローバルギャップへの取り組み
- ⑩ 地域で生産された農産物を地域で消費する地産地消の取り組み

目標指標	基準値	目標値
畦畔管理指針の作成(延数)【件】	-	1

※ 「6次産業化」とは、農林漁業者等が農林漁業者等以外の協力を得て主体的に行う、1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との統合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取り組み。

※ 「バイオマス」とは、動植物に由来する有機性資源で、化石資源を除いたものをいう。

※ 「グローバルギャップ」とは、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」の実践を目的とする国際基準。

(6) 農業生産基盤の整備

(農政・耕地林務)

効率的かつ安定的な農業経営を確保するための、生産基盤の整備や長寿命化を進めます。

- ① ほ場整備の推進
- ② 水路構造物等長寿命化修繕
- ③ 中央道跨水路橋の統廃合検討

目標指標	基準値	目標値
ほ場整備(延数)【ha】	-	10

(7) 地域の特徴を生かした企業誘致

(商工)

既存企業の特徴を生かした「アルプスの音色が響くまち」の推進や発酵食文化を推進し、健康長寿の町を目指します。また、自然災害などのリスク分散を視野に入れた地域の優位性を広くPRし、優良企業の誘致を推進します。

- ① 音楽村構想「アルプスの音色が響くまち」の推進
- ② 発酵食品関連企業と連携した発酵食文化の推進
- ③ 企業のビジネスマッチングや販路開拓に繋がる支援
- ④ 優良企業の誘致
- ⑤ わら細工などの伝統技術等の承継支援
- ⑥ 飯島町商工会と連携した工業の支援

目標指標	基準値	目標値
新規企業誘致数(延数)【社】	-	3

※ 町や飯島町土地開発公社が所有する土地への企業誘致や町内の空き工場への企業誘致を目標とした。

(8) 賑わう商店と買い物環境づくり

(商工)

商業者が、人の賑わいを生みながら地域の暮らしを支え活発な商業が営めるよう、買い物形態の変化や時代に沿った商業が営める取り組みを支援します。

- ① 商工業者が自ら提案しチャレンジできる仕組みづくり
- ② 買い物弱者対策を含めた買い物環境の充実
- ③ 飯島町商工会等と連携した商業の支援
- ④ 感染症対策を踏まえ必要に応じた商品券の発行等による消費喚起
- ⑤ 感染症に対応するため非接触等のキャッシュレス決済の推進と支援

目標指標	基準値	目標値
地元滞留率【%】	3.5 (H30)	6.0

※ 「地元滞留率」とは、居住する地元市町村内で主に買物をする世帯の割合のことをいう。地元滞留率は長野県が県下一斉に消費者の買物行動を調査しており、広域的商圈の動向を把握することにより中小小売業の振興施策の基礎資料としている。



(9) 新しいワークスタイルの推進と起業支援

(商工)

企業の雇用形態や就労形態の多様化による、新しい働き方への需要に対応していくため、時代とニーズに合わせた新しいワークスタイルを研究し推進します。

- ① サテライトオフィスの誘致を推進
- ② 求人情報の提供と就労サポート体制の充実
- ③ 人材育成の推進・支援
- ④ 飯島町商工会と連携した起業支援
- ⑤ テレワークの推進

目標指標	基準値	目標値
起業数【件／年】	2 (R1)	2

※「サテライトオフィス」とは、企業等が本拠から離れたところに設置する遠隔勤務のためのオフィス。

(10) スマート林業の推進

(耕地林務)

豊かな森林資源を活用した林業振興や資源循環できる環境を目指し、森林整備の推進や新しい技術を活用したスマート林業の推進を図ります。

- ① ICT 技術による森林測量を基にした森林整備の推進及び生産性の向上
- ② 森林環境譲与税を活用した民有林の集約化
- ③ ゾーニングによる計画的な森林整備の推進
- ④ 作業路網等、林業基盤整備の推進
- ⑤ 間伐材等を利用した自然エネルギー活用の推進

目標指標	基準値	目標値
間伐実施面積【ha／年】	75 (R1)	80

※「スマート林業」とは、地理空間情報等の先端技術を駆使し生産性や安全性の飛躍的な向上、需要に応じた高度な木材生産を目指す新たな林業。

※「ゾーニング」とは、森林の持つ多面的機能(山地災害防止、水源涵養、保健文化、木材生産等)を発揮するため、森林を役割ごとに区分けすること。

(11) 治山・治水による森林の機能向上

(耕地林務)

治山・治水事業を推進し、林業を守りながら、水源かん養、土砂流出防備、二酸化炭素吸収など、森林の持つ公益的機能の向上を図ります。

① 治山・治水事業の推進

目標指標	基準値	目標値
間伐実施面積【ha／年】	75 (R1)	80

(12) 有害鳥獣等対策の推進

(耕地林務)

有害鳥獣等による林業や農業への被害対策を推進し、豊かな自然と人が共存できる環境づくりを目指します。

- ① 猟友会や鳥獣被害対策実施隊との連携による有害鳥獣駆除の推進
- ② 自然条件及び地域の特性等を考慮した樹種転換の推進
- ③ 松くい虫など森林病虫害の被害拡大防止策の充実
- ④ 枯損木処理による林業被害防止策の強化
- ⑤ 有害鳥獣等対策の啓発活動の推進

目標指標	基準値	目標値
枯損木処理【m3／年】	40 (R1)	50



《基本目標》

5 暮らしを支える

強靱で快適なライフラインの創造

(建設水道)

《基本的方向》

住民の安全・安心で豊かな暮らしを支える、強靱で快適なライフラインを創造します。

道路・橋りょう、上下水道を中心とした公共インフラは暮らしの重要な要素です。リニア中央新幹線の開通や時代の変革など、将来を見据えたインフラの整備や維持管理、強靱化を進めることで暮らしやすいまちを実現します。

《SDGsの主な指針》



目標指標	基準値	目標値
町道の改良延長(幅員 5.5m~)【km】	44.6 (R2)	47.9
水道管路耐震化率【%】	76.6 (R1)	80.0



※ 「水道管路耐震化率」とは、導水管、送水管、配水管のうち、耐震適合性のある管路の割合



《具体的な施策》

(1) 暮らしを支える道路の整備

(建設)

住民の安全や利便の向上、リニア中央新幹線の開通等による町の魅力が高まることへの期待に応えるための道路・交通網の整備に取り組みます。

- ① 国道、県道の整備促進
- ② 町道の整備
- ③ 道路構造物の長寿命化修繕
- ④ 道路橋及び水路橋の統廃合の検討
- ⑤ 地域や住民との公助による道路の維持管理
- ⑥ 国道 153 号伊那バレー・リニア北バイパスの計画促進
- ⑦ 交通量の少ない道路等の用途廃止や代替策の研究

目標指標	基準値	目標値
町道の改良延長(幅員 5.5m~)【km】	44.6 (R2)	47.9

(2) 安全・安心の河川整備

(建設)

地域住民の生命、財産を災害から守り、安全・安心のまちづくりのため、河川整備や砂防事業を推進し強靱化を図ります。

- ① 一級河川天竜川、与田切川及び中田切川の整備・砂防事業の促進
- ② 県管理河川の整備・砂防事業の促進
- ③ 町管理河川の適正な維持管理

目標指標	基準値	目標値
与田切・中田切川整備・砂防事業の促進率【%】	80 (R1)	100

(3) 将来を見据えた都市づくり

(調査計画)

社会経済情勢の変化に対応した暮らしやすいまちづくりを推進するため、将来を見据えた都市計画等を構築し計画的なまちづくりを進めます。

- ① 住民の希望する未来や国土利用計画に基づく都市計画等の見直し
- ② 都市計画マスタープランの更新による、総合的な都市計画の推進
- ③ 景観保全を目的とした、住宅・看板設置の指導

目標指標	基準値	目標値
現都市計画の見直し案の作成及び計画決定(延数)【件】	—	1

(4) 住宅施策と空き家対策

(調査計画)

住宅については、都市計画等に沿って適正な誘導を行うとともに、空き家対策として、所有者自らが責任を持って維持管理していくことや空き家の利活用を推進します。また、暮らしのセーフティネットとなる公営住宅の適切な維持・活用に努めます。

- ① 公営住宅の適正管理(長寿命化・計画的な維持修繕)と統廃合の促進
- ② 住宅の耐震診断・耐震改修の促進、若しくは建替えの推奨
- ③ 特定空家等候補の抑制と空き家の適正管理及び利活用の促進
- ④ 公営住宅については、適正な管理により入居率の向上
- ⑤ 耐震診断・耐震改修・耐震シェルター設置の推進

目標指標	基準値	目標値
入居率【%】	75.6 (R1)	100.0
公営住宅数【箇所】	7 (R1)	5
一般住宅の耐震化率【%】	81.4 (H30)	90.0
特定空家等候補数(危険度C)【戸】	34 (R1)	22

※ 「特定空家」とは、倒壊の恐れ、また衛生上有害かつ景観・生活環境上支障を及ぼす家屋のこと。



(5) 地籍調査事業の推進

(調査計画)

安心して暮らせるまちを目指し、個人の土地の権利の明確化や境界紛争の防止、災害復旧等に役立つ地籍調査事業を推進します。

① 地籍調査事業の推進

目標指標	基準値	目標値
国土調査実施済進捗率【%】	64.3 (R1)	92.9

(6) 安全で安心な水道の確保

(水道)

重要なライフラインである水道について、被災時でも迅速に飲料水を供給できるよう、施設管路の耐震化を進めるとともに、より安定した経営を行うため、隣接自治体との連携を図り既存施設の有効利用を図ります。

- ① 建替えも視野に入れた浄水場耐震化の実施
- ② 老朽管路の更新継続
- ③ 隣接自治体への用水供給事業の推進
- ④ 豊かな水資源を活用した水力発電等による水道料金の値下げ

目標指標	基準値	目標値
水道管の管路耐震化率【%】	77.9 (R1)	80.0
水道事業の有収率【%】	78.4 (R1)	85.0

※ 「管路耐震化率」とは、導水管、送水管、配水管のうち、耐震適合性のある管路の割合
 ※ 「有収率」とは、総水量に対して、漏水等を除く料金回収できた水量の割合

(7) 快適で衛生的な下水道・浄化槽の推進

(水道)

快適で衛生的な生活環境と河川等の水質を保全するため、下水道や浄化槽の普及を推進します。また、公営企業として安定した経営を行うため、効率的な施設運営を行えるよう施設の統廃合を進め、経費削減に努めます。

- ① 下水道・合併浄化槽へのつなぎ込み推進
- ② 下水道処理施設の統廃合
- ③ 経営実態に適合した料金体系の検討

目標指標	基準値	目標値
下水道・合併浄化槽へのつなぎ込み率【%】	82.3 (R1)	87.0



《基本目標》

6 魅力向上で住みたい・ 住み続けたい地域づくり

(地域創造)

《基本的方向》

住民が自らの地域に誇りと愛着を持ち、住みたい、住み続けたいと思える魅力あるまちを目指します。

町の魅力を発掘し磨き上げる取り組みを進めることで、交流人口や関係人口、定住人口の増加を目指すとともに、将来を見据えた暮らしやすい地域づくりを住民と共に進めていきます。

《SDGsの主な指針》



目標指標	基準値	目標値
飯島町の人口【人】	7,835	8,404
人口の社会増減【人／年】	-49 (R1)	±0



- ※ 平成 30 年に公表された国立社会保障・人口問題研究所推計によると、2030 年の人口は 7,835 人と推計されている。
- ※ 飯島町では、定住促進や子育て支援等の取り組みにより人口減少に歯止めをかけていくことで、2030 年の人口目標を 8,404 人と設定した。



《具体的な施策》

(1) 町の魅力を生かした観光地域づくり

(魅力デザイン)

町の魅力や地域資源を生かした観光地域づくりを住民参加で進め、地域の活性化を図りながら、交流人口や関係人口、定住人口の増加へ繋げていきます。

- ① 与田切公園、千人塚公園をベースとした与田切溪谷の整備と活用
- ② 観光事業者の育成
- ③ 地域資源の掘り起こしとプログラム化
- ④ 滞在型旅行商品の造成・販売
- ⑤ 周辺市町村と連携した広域観光ルートの開発
- ⑥ 感染症に対応するための安心安全な観光地づくりの推進

目標指標	基準値	目標値
観光客数【人／年】	430,000 (R1)	470,000

(2) 儲かる飯島町の創出

(魅力デザイン)

大相撲の土俵づくりに発展したわら細工を手本に、特産品や地域資源を生かして人を呼び込むための仕組みづくりを進めます。

- ① インターネット販売事業の拡大
- ② 関係団体や企業と連携した特産品流通の仕組みづくり
- ③ 都市企業の社会貢献活動や福利厚生活動の受入
- ④ 住民が主体となった地域資源の掘り起こしと磨き上げ

目標指標	基準値	目標値
観光消費額【円／年】	590,000,000 (R1)	650,000,000

※ 「観光消費額」とは、町内2か所の道の駅と千人塚公園、与田切公園の年間売上額。

(3) 若者や子育て世代の人口を増やす

(定住促進)

若者・子育て世帯のUIターン数を増やすことで、定住人口を増やし暮らしやすい地域を将来へ繋いでいきます。

- ① 郷土愛の醸成によるUIターンの促進
- ② 若者がUターンしたいと思える働き方や生活環境の整備
- ③ 女性の「子育て」と「就労」を支援する取り組み
- ④ 若者が主体的に参加運営する事業への支援
- ⑤ 感染症対策を踏まえた若者への都市部からのUIターンの促進

目標指標	基準値	目標値
若者世帯のUIターン数【世帯／年】	6 (R1)	10

(4) 若い世代の結婚を応援

(定住促進)

若い世代の結婚への意識付けを行うことで、結婚による家族形成による出生率の向上や人口増につなげていきます。

- ① 若年層が気軽に相談できる体制づくりと交流機会の提供
- ② ライフデザイン意識の醸成
- ③ 県外から地方へ嫁ぎたい人々を呼び込む取り組み
- ④ 若年層の住まいに関する支援の拡充
- ⑤ 定例的な結婚相談の実施

目標指標	基準値	目標値
婚姻数【組／年】	36 (R1)	50



(5) 住民参加で盛り上げるコミュニティ機能の充実

(地域)

住民が活気のある豊かな心で共に支え合って暮らせるまちを目指し、コミュニティ機能の充実や魅力あふれるまちなかづくり、集いの場づくりを進めます。

- ① 協働による共に支え合うまちづくりの推進
- ② 住民が参加しやすいまちづくりの仕組みづくり
- ③ 住民みんなが進めるきれいでやすらぎのある環境づくり
- ④ 人が集い活気のある「賑わいの場」づくり
- ⑤ 利便性の高いまちなかの「生活の場」づくり
- ⑥ 感染症に対応するための新しい生活様式に沿ったコミュニティの研究

目標指標	基準値	目標値
協働のまちづくり推進事業補助金利用件数【件／年】	8 (R1)	10

(6) 将来を見据えた自治組織への支援

(地域)

住民が互いに知恵を出し合いながら、地域の活性化や課題解決に取り組める、将来にわたって暮らしやすい地域を目指し、自治組織や地域の団体の取り組みを支援していきます。

- ① 将来を見据えた自治組織(区・地域づくり委員会・自治会)のあり方検討
- ② 行政施策による自治組織の負担軽減
- ③ 自治組織への加入促進

目標指標	基準値	目標値
自治会加入率【%】	84.0 (R1)	90.0

※「自治会加入率」とは、住民基本台帳による自治会に加入している日本人世帯の割合。(賃貸住宅含む)

《基本目標》

7 「子どもの元気」と「学びの力」で いきいき豊かな暮らし

(教育)

《基本的方向》

将来にわたり活力のある暮らしやすいまちのため、家庭・学校・地域・企業が一体となって子育てを支援する、安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。

次世代を担う子どもたち1人ひとりが確かな学力と豊かな人間性、柔軟な創造性を身につけ、「生きる力」を育む学校教育を推進するとともに、誰もが生きいきと充実した人生を送ることのできる生涯学習の環境を整えます。

《SDGsの主な指針》



目標指標	基準値	目標値
学校満足度調査で「学校が楽しい」と答えた子どもの割合【%】	80 (R1)	90
講座満足度調査で「講座参加により心豊かになった」と答えた方の割合【%】	-	80





《具体的な施策》

(1) 子どもの健やかな体と豊かな心を育てる

(こども)

子どもたち一人ひとりの健やかな体や豊かな心を育て、ふるさとに誇りと愛着を持ち、たくましく生きる子どもを育てます。

- ① 待機児童ゼロ維持のため、保育環境の整備
- ② 専門スタッフによる教室により、その子に合った早期の支援・保育の提供
- ③ 園における運動あそびや、絵本との触れ合いの充実
- ④ 子どもに関する様々な悩みに寄り添える相談体制の充実
- ⑤ 保育園、学校、家庭、地域、関係機関、行政等の連携強化

目標指標	基準値	目標値
待機児童【人／年】	0 (R1)	0

(2) 学校教育の充実

(こども)

学校教育を通じて、子どもたちが、「勉強して考える力」「内面を豊かにする力」「たくましく生きる力」をバランス良く身に付けられる環境の充実を図ります。

- ① 国際交流事業を通じ、主体的に学び考え行動できるグローバルな人材の育成
- ② ICTを活用した教育環境の充実と教育の推進
- ③ 安全で安心な学校給食の推進と地域に開かれた多目的給食センターの実現
- ④ 郷土愛プロジェクト等を通じ地域を知り「ふるさと飯島」への愛を育む
- ⑤ 感染症に対応する情報技術を活用した教育環境の整備の推進
- ⑥ 心に寄り添い輝く笑顔あふれる教育活動の推進

目標指標	基準値	目標値
学校満足度調査(生活)【%】	82 (R1)	90
学校満足度調査(学習)【%】	79 (R1)	90

(3) 子どものための家庭環境づくりの支援

(こども)

子どもたちにとってより良い家庭環境がつけられるよう、関係機関が連携を深めながら、支援体制を充実します。

- ① 関連組織間の連携による子育てと仕事の両立支援
- ② 子育て世代が安心して子育てできるような、家庭の在り方を自ら学べる講座の開催
- ③ 切れ目のない子育て支援の実現に向けた体制の一元化

目標指標	基準値	目標値
子育て支援センター利用者延べ人数【人／年】	11,317 (R1)	9,600

(4) 学ぼう「知ること・為すこと・共に生きること」

(生涯学習)

誰もが生涯にわたって学び、活躍でき、地域社会の中で輝いて暮らせるための生涯学習活動を支援します。

- ① 全町的な生涯学習活動の推進
- ② 生涯学習センターと関係機関との連携強化
- ③ 各公民館事業の支援
- ④ 図書館・歴史民俗資料館・文化館・スポーツ施設等の連携強化
- ⑤ 生涯学習事業情報の一元化と情報発信
- ⑥ 指導者やボランティアの情報整備と活用
- ⑦ 現代課題や地域課題を踏まえた講座の開催

目標指標	基準値	目標値
講座参加人数【人／年】	1,503 (R1)	1,500



(5) スポーツライフ「いつでも・どこでも・いつまでも」

(生涯学習)

誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、心身の健康増進を図ることができるよう、生涯スポーツを推進します。

- ① スポーツ関連団体と連携した生涯スポーツの推進
- ② 少年スポーツの活動支援
- ③ スポーツクラブ・サークルの活動支援
- ④ 「飯島町総合型スポーツクラブ」と連携した生涯スポーツの推進
- ⑤ 誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの普及促進
- ⑥ 住民が利用しやすいスポーツ環境の整備・充実

目標指標	基準値	目標値
スポーツ実施率(週1回以上の運動をする人) 【%】	44 (H28)	65

(6) 芸術・文化を守りつなぐ

(生涯学習)

質の高い芸術・文化活動にふれる機会を提供するとともに、有形・無形の文化財を守り伝えることで、地域の文化力の向上を図ります。

- ① 住民が利用しやすい文化施設の運営
- ② 心を豊かにし、感性を高める文化事業の開催
- ③ 町内の楽器製造企業との連携による音楽環境の醸成
- ④ 学校との連携による歴史民俗資料館を活用した学習支援
- ⑤ 感染症に対応する安全な施設運営方法の研究

目標指標	基準値	目標値
文化館利用人数【人／年】	34,885 (R1)	35,000

《基本目標》

8 将来像を実現する 創造力にあふれた行政基盤づくり

(企画政策・会計・議会事務)

《基本的方向》

いかなる状況においても安定した暮らしやすいまちであるために、社会の変化に対応できる、将来にわたって持続可能な行財政基盤の構築を目指します。

人口減少や少子高齢化、地方分権の進展、住民ニーズの多様化・高度化に、創造力と実行力で応えられる簡素で効率的な行政組織を構築していきます。

《SDGsの主な指針》



目標指標	基準値	目標値
飯島町の将来負担比率の維持【%】	78 (R1)	73 以下



※ 「将来負担比率」とは、地方公共団体の借入金(地方債)など、現在抱えている負債の大きさを、地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもの。国が示す市町村の早期健全化基準は 350%とされている。



《具体的な施策》

(1) 将来像を目指す仕組みづくり

(企画調整)

総合計画などの長期計画の着実な運用を図ることで、社会の変化に対応できる、将来にわたって暮らしやすい持続可能なまちづくりを進めます。また、住民ニーズの多様化に対応するため分野を超えて施策を実現していく仕組みをつくります。

- ① 評価・見直しによる総合計画の進捗管理
- ② プロジェクトチームの編成による施策の推進
- ③ 「政策アイデアコンテスト」の開催

目標指標	基準値	目標値
プロジェクトチームによる課題解決(延数)【件】	-	5
政策アイデアコンテストによる施策実現(延数)【件】	-	3

(2) 住民ニーズに応える行政改革

(企画調整)

住民ニーズや町行政を取り巻く社会情勢の変化に対応していくため、行政改革を推進し簡素で効率的な行政運営を実現します。

- ① 住民ニーズや情勢の変化に対応した組織改革
- ② 簡素で効率的な行政組織のための事務事業改革
- ③ 形骸化した事業・事務等の統廃合の推進

目標指標	基準値	目標値
事業・事務等の統廃合(延数)【件】	-	10

(3) 効果的・効率的な財政運営

(財政)

いかなる状況においても安定した暮らしやすいまちであるために、社会の変化に対応できる、将来にわたって持続可能な行財政基盤の構築を目指します。

- ① 中長期的な財政状況の把握と効率的な財政運営の推進
- ② 新たな財源確保の研究
- ③ 起債残高の縮減と実質公債費比率の抑制
- ④ 計画的な各基金の積み立ての推進
- ⑤ 選択と集中による事業の最適化推進
- ⑥ 公共施設の大規模修繕や災害発生時を想定した財政運営の推進

目標指標	基準値	目標値
実質公債費比率の抑制【%】	18.0 以下	10.0 以下
標準財政規模に対する財政調整基金積立額の割合【%】	31 (H27-R1 平均)	31

- ※ 「実質公債費比率」とは、地方公共団体の借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものである。18%以上の場合、地方債の発行に総務大臣等の許可が必要となる。
- ※ 財政調整基金は、災害対策や景気悪化等による財源不足など、不測の事態に備え積み立てておく必要がある。

(4) 公共施設の適正管理・有効活用

(財政)

将来の人口の状況を見据えた中で、公共施設の維持管理や整備に必要な費用が住民の大きな負担とならないように、公共施設の有効活用や維持管理コストの効率化、施設の総量を段階的に減らす取り組みを進めます。

- ① 施設の有効活用や維持管理コストの効率化
- ② 施設の総量を段階的に減らす取り組み

目標指標	基準値	目標値
公共建築物延床面積の抑制(延数)【㎡】	76,064 (H27)	71,881 以下

- ※ 「公共建築物延床面積の目標値」は、平成29年(2017年)3月策定の「飯島町公共施設等総合管理計画」にあわせた設定。



(5) 適正な会計事務

(会計)

職員一人ひとりが法令や規則に基づいた適正な会計処理が行えるよう支援します。また、物品購入や消耗品利用について経費節減に取り組み、住民に信頼される行政運営を進めます。

- ① 会計事務を標準化するための資料作成
- ② 会計処理に関する職員説明会の実施
- ③ 物品の集中購買による経費節減
- ④ 事務用消耗品の共有化、再利用化推進

目標指標	基準値	目標値
共有化する事務用消耗品数(延数)【品】	-	10

(6) 議会・監査の支援

(議会事務・監査事務)

住民の代表として立法・行政的意思決定・行政監視の役割が果たせるよう議会の事務的な支援をします。また、財務に関する事務の執行・行政の経営に係る事業の管理を監査する行政委員会の独任性の役割が果たせるよう監査の事務的な支援をします。

- ① 議会運営に必要な資料や情報の提供
- ② 監査業務の支援



IV プロジェクトによる取り組み

- 1 飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト
- 2 人口増プロジェクト



《プロジェクトによる取り組み》

1 飯島ルネサンス

「環境循環ライフ構想」プロジェクト

豊かな森林や水資源を安定活用する強靱化を進め、木質バイオマス発電や水力発電により資源の地産地消や自主財源を図る「飯島ルネサンス」に取り組みます。

木質バイオマス発電にあたっては、森林整備や環境保全、森林資源の活用、排熱利用などを一体的にとらえ、森林エネルギーの地産地消と産業振興に繋げるとともに、「アグリイノベーション 2030」による新しい農業の取り組みや、災害に強いまちづくり、「飯島流ワーケーション」による地域交流などを推進します。

(環境循環ライフ構想 イメージ)





資料

- 持続可能な開発目標SDGs
- 行財政改革プラン
- 地区懇談会での意見
- 第6次総合計画 策定体制
- 策定経過等
- 飯島町基本構想審議会名簿



持続可能な開発目標SDGs

持続可能な開発目標（SDGs・エスディーゼーズ）は、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴールから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的な目標とされており、日本でも積極的に取り組むとともに、自治体におけるSDGsの達成に向けた取り組みの拡大を目指しています。





行財政改革プラン

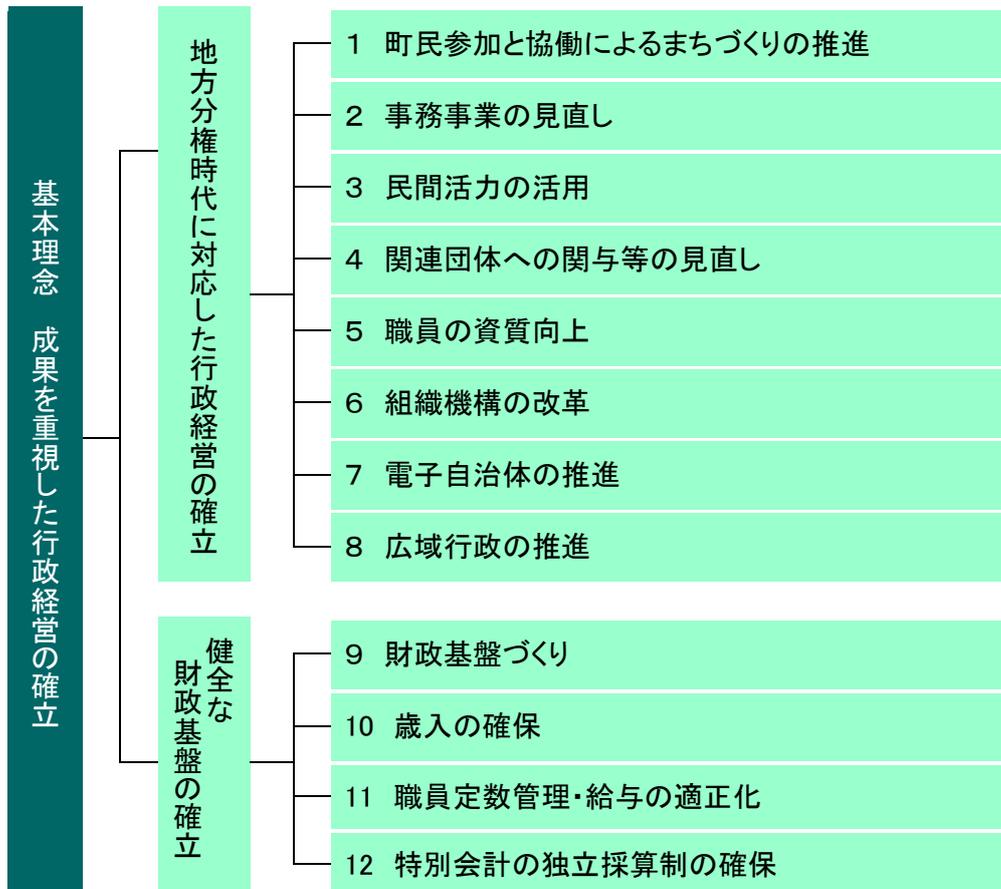
行財政改革プランは、総合計画に掲げた町の将来像の実現に向けて、必要な財源の確保等を図るための行動指針です。

第6次総合計画は、行財政改革プランを含めた計画としており、総合計画の推進と合わせて一体的な行財政改革に取り組んでいくものとしています。

このことにより、多様化するさまざまな行政課題への対応が迫られる中、行政経営の簡素化、効率化を図りつつ、町の将来像の実現に向けて必要とするサービスの提供に繋げる、成果を重視した行政経営の確立を目指しています。

ここでは、第6次総合計画に含まれた行財政改革プランの取り組みを、行財政改革プランの視点から再掲します。

(行財政改革プラン体系)



1 町民参加と協働によるまちづくりの推進

- ・ 皆が地域づくりの主体として支えあう(新しいお互いさま)社会の推進 [基 3(4)①]
- ・ 地域を支える人材や団体の育成 [基 3(4)③]
- ・ 協働による共に支え合うまちづくりの推進 [基 6(5)①]
- ・ 住民が参加しやすいまちづくりの仕組みづくり [基 6(5)②]
- ・ 将来を見据えた自治組織(区・地域づくり委員会・自治会)のあり方検討 [基 6(6)①]
- ・ 行政施策による自治組織の負担軽減 [基 6(6)②]
- ・ 自治組織への加入促進 [基 6(6)③]

2 事務事業の見直し

- ・ 行政文書のペーパーレス化の推進 [基 1(4)①]
- ・ ワンストップサービスによる役場組織内の連携強化 [基 2(3)①]
- ・ カウンターや待合ホールの改善 [基 2(3)③]
- ・ マイナンバーカードの申請促進 [基 2(3)⑤]
- ・ 税務申告等の手続の簡素化の研究 [基 2(4)③]
- ・ 中央道跨水路橋の統廃合検討 [基 4(6)③]
- ・ 道路橋及び水路橋の統廃合の検討 [基 5(1)④]
- ・ 交通量の少ない道路等の用途廃止や代替策の研究 [基 5(1)⑦]
- ・ 評価・見直しによる総合計画の進捗管理 [基 8(1)①]
- ・ 「政策アイデアコンテスト」の開催 [基 8(1)③]
- ・ 形骸化した事業・事務等の統廃合の推進 [基 8(2)③]
- ・ 選択と集中による事業の最適化推進 [基 8(3)⑤]
- ・ 施設の有効活用や維持管理コストの効率化 [基 8(4)①]
- ・ 施設の総量を段階的に減らす取り組み [基 8(4)②]
- ・ 物品の集中購買による経費節減 [基 8(5)③]
- ・ 事務用消耗品の共有化、再利用化推進 [基 8(5)④]



3 民間活力の活用

- ・ 定員管理計画に沿った職員数管理 [基 1(7)⑥]
- ・ 住民ニーズや情勢の変化に対応した組織改革 [基 8(2)①]
- ・ 簡素で効率的な行政組織のための事務事業改革 [基 8(2)②]

4 関連団体への関与等の見直し

- ・ 将来を見据えた自治組織(区・地域づくり委員会・自治会)のあり方検討(再掲) [基 6(6)①]
- ・ 行政施策による自治組織の負担軽減(再掲) [基 6(6)②]
- ・ 簡素で効率的な行政組織のための事務事業改革(再掲) [基 8(2)②]

5 職員の資質向上

- ・ 接客ホスピタリティーの醸成 [基 1(7)①]
- ・ 各種研修や職員提案制度等の実施による、職員の企画、立案、実行力の向上 [基 1(7)③]
- ・ 窓口や接客改善のための定期的な組織内連携会議の開催 [基 2(3)②]
- ・ 他市町村や民間企業との窓口接客等の実地研修 [基 2(3)④]
- ・ 会計事務を標準化するための資料作成 [基 8(5)①]

6 組織機構の改革

- ・ プロジェクトチームの編成による施策の推進 [基 8(1)②]
- ・ 住民ニーズや情勢の変化に対応した組織改革(再掲) [基 8(2)①]
- ・ 簡素で効率的な行政組織のための事務事業改革(再掲) [基 8(2)②]

7 電子自治体の推進

- ・ 行政手続のデジタル化の推進 [基 1(4)②]
- ・ AI・RPA等のICT活用による事務効率化の推進 [基 1(4)③]
- ・ 住民が必要とする情報の把握と研究 [基 1(5)①]
- ・ 様々なツールを活用した町の魅力発信 [基 1(5)②]
- ・ 行政情報のデジタル化の推進 [基 1(5)③]
- ・ AIやRPA等を活用したスマート事務システムの研究 [基 1(7)⑤]
- ・ テレワークの推進 [基 4(9)⑤]
- ・ ICTを活用した教育環境の充実と教育の推進 [基 7(2)②]

8 広域行政の推進

- ・ 広域連携による業務効率化の研究 [基 1(7)④]
- ・ 上伊那地域や伊南地域との包括的な医療連携支援 [基 3(3)①]

9 財政基盤づくり

- ・ 中長期的な財政状況の把握と効率的な財政運営の推進 [基 8(3)①]
- ・ 起債残高の縮減と実質公債費比率の抑制 [基 8(3)③]
- ・ 計画的な各基金の積み立ての推進 [基 8(3)④]
- ・ 公共施設の大規模修繕や災害発生時を想定した財政運営の推進 [基 8(3)⑥]



10 歳入の確保

- ・ 課税精度の向上と未収金の縮減 [基 2(4)①]
- ・ 固定資産税における全筆・全棟調査の実施・精度の向上 [基 2(4)②]
- ・ 優良企業の誘致 [基 4(7)④]
- ・ 公営住宅については、適正な管理により入居率の向上 [基 5(4)④]
- ・ 郷土愛の醸成によるUIターンの促進 [基 6(3)①]
- ・ 新たな財源確保の研究 [基 8(3)②]

11 職員定数管理・給与の適正化

- ・ 定員管理計画に沿った職員数管理(再掲) [基 1(7)⑥]

12 特別会計の独立採算制の確保

- ・ 豊かな水資源を活用した水力発電等による水道料金の値下げ [基 5(6)④]
- ・ 隣接自治体への用水供給事業の推進 [基 5(6)③]
- ・ 下水道処理施設の統廃合 [基 5(7)②]
- ・ 経営実態に適合した料金体系の検討 [基 5(7)③]

地区懇談会での意見

令和元年の10月から11月にかけて、第6次総合計画の策定に向けた、飯島町内4地区での地区懇談会が行われました。懇談会では、将来の各地区がどうありたいか、どうしていくか等の様々な意見が交わされました。懇談会で出された意見は、第6次総合計画の各施策の検討等に生かされました。また、今後の地域づくりにも生かして欲しいという願いを込めて、各意見を掲載します。

飯島地区

◆令和元年 11月 15日(金)午後7時～ 飯島成人大学センター、出席者 60名

【イメージ】 住みやすい、自然豊かで生活、環境が整った町 / 温泉に浸かりのんびり暮らせるまち / 安心して生活出来る町 / 支え合いの町 / 子供も大人も和気あいあい暮らせる町 / 町民一人一人が「飯島町が好き」と思っている(思える)町・地域 / 住みやすい・安心・安全な地域・町 / 明るいまとまりのある町 / 安心して暮らせる町 / 活力のある街 / 笑顔あふれる / 若い人が気軽に集会とか出来る町 / 人口は減ってほしくはないが、町民一人一人の幸せが実現できる満足度の高い町 / 安定した生活 / 若い世代がまちづくりに参加しやすい環境 / 収入が努力した分多くなる様な産業づくり / 現在飯島町を見てみると、とても魅力ある町とは思えない

【自然・環境】 自然環境を大切にしたい町 / 花いっぱいのもち / 自然環境の維持 / 自然、産物を活用したまちづくり

【農業】 農業収入だけで生活可能 / 他の地域から人が集まる町(活力ある町)→農業 / 古代米とわら細工 / リンゴ農園の存続、高齢化に伴うためやっつけられない農家の支援、オーナー制の充実等 / スマートインターチェンジを作り、ワンオーナー化を進める。人を集め町に金を落とす

【観光】 自然と美味しい食べ物があり、人が来町する町 / 観光の町 / 観光の町 / 日本一の何かはないか(景色) / 他の地域から人が集まる町(活力ある町)→自然 他 / れんげ畑 最近見たことない / 県内の人に対して飯島と言えばコレと言える名物を作る / リニアも開通し都会からの人の流入が出来る / 地元へお金を宿泊場所がない / 与田切にサイクリング道路 ex)伊那から高遠 三峰川道路 / 日本一の何かはないか(文化財) / 大



都市との交流 / 他の地域から人が集まる町(活力ある町)→観光 / 他の地域から人が集まる町(活力ある町)→交流 / 他市町村の皆さんが積極的に飯島町に訪れてくれる様な町 / 観光資源となりうる「かけ流しタイプの温泉」の創出(インフラ) / 特産物の増加→ネット購入できる→若年層が参入できる 若年層からは良い意見(現代的な物)が出てくる / 町の特産物を考える / 他から買いに来る、ネットで求められるようなものを専門家に設計してもらう / イベントの町 / 観光客が増える町→新しい観光スポットが必要 / 与田切公園カントリーウエスタン来たが、あまり町民は知らない※与田切カントリーフェスティバル / 飯島を通過する町ではなく、人が来てくれる町にしたい / 農業も観光とコラボして発展に繋げることが出来ると思う / 飯島町をエコ・アグリミュージアムにしたい

【伝統行事・お祭り・文化】 祭りが盛んな地域 / 文化的な催しを行い参加できる / 祭り(イベント)広場、駅前、現住宅立ち退き、グラウンド2面くらい / 皆で楽しく集まり祭りやコミュニケーションをとる様 / 米俵マラソン 駒ヶ根へ泊まって帰る / 町が一つになる祭りとして米俵マラソンの時に花火と踊りでPR / 町として核になる事を1つ作ってもらいたい。最近は何もなくなってしまっていて今は何もないと思う / 色々な所で単発な行事も良いが、町民が気楽に参加出来るイベント等をやってみたら / 音楽が好きな人が(音楽のジャンルはこだわらない)自由な時、演奏できる場所があればいい)

【情報発信】 他に向けて何かを発信できる町 / SNSの発信が多い町→町のPRにもなる。
/ 町のPR(企業含めた)日本一の何かはないか(趣味)

【スポーツ】 日本一の何かはないか(スポーツ)

【買い物・商業】 買い物に困らない町 / 買い物に困らない町 / 生活しやすい町 / 買い物など町の中でできるようにしてほしい / 商店街のにぎやかな地域 / 商店街がある町 / 食料品を購入出来る店がJA以外に複数ある / 買い物弱者を作らない / 飯島町飯島にS TOPがない / 箕輪町の発想 ・商店街(大規模店) / 飯島地区は店舗の集約化 / 特産物(品)の販売する店舗を創る / 商業施設の集積 / 買い物が便利な町であってほしい。大型スーパーが1つくらいあってほしい。 / 商業施設があつて買い物を楽しめる / 集合施設のある町 / 歩いて行ける買い物の町 / 商店を増やす(スーパー他) / アルプスが見える所にアウトレットを作る様にすれば人が集まる

【企業等誘致】 若者が働く場所の多い町 / 大学の誘致→卒業後住んでもらう→企業誘致→子育て / 工場も充実 / 大学の誘致、専門のイベント会社に依頼して企画する / 酒、ワイン、味噌、酢等も含めて醸造の町構想を進める / 自分の子供や孫に働く所を勧められるように(地元で働けるように) / 働く場所の確保 / 若い世代の町内での起業支援 / (企

業、商業施設)※デベロッパーの要望を調査町全体での企業への支援(土地の無償化等)
/ 地元で働けるように工業団地を作る / 働く所がある / 公営ギャンブルが出来る町 /

【コンパクトシティ】 コンパクトな町 / 10年後～50年後 飯島駅西側中心のコンパクトシティ化を目指す

【空き家】 空き家を民泊施設に / 空き家を利用して民泊 / 空き家を民泊施設に

【交通弱者】 お金が他市町村へ 飯田線 飯島駅バスが自由に停車できる、駒ヶ根は無理※自転車をそのまま載せる / 200円バスの運行を見直す、無料の時は乗っていた、飯島にお金が落ちない / 年寄りが自分で買い物(食品)ができるように

【定住促進】 他地区から人が来る町 / 皆が住みたいと思う魅力ある町 / 近くの企業に通う若い人が住む町 / 飯島地区は特に住む所 / 住宅、土地等のあっせん / 他の所から人の流入を増やす。人が集まれば店を出来る活気が出る / 二世帯住宅 / 別宅の支援 / 人口が増える町→移住者が増える→企業誘致を行う / 人口を増やすような町 / 10年後～50年後 駅南～153号住居地域専門 / 若い層の意見を積極的に取り入れる→人口流出とのコネクティングによりターンを狙う。町内就職増を！

【子ども】 子供の声が多く聞ける町 / 子供達が外で遊べる地域でありたい / 自然豊かで子育てがしやすい町 / 子供が増える町 / 戸数、子供の数を維持し、明るく暮らせる町 / 子育て環境の充実 / 子供が増える町

【高齢者】 静かに暮らせる福祉が充実した町 / 高齢化に伴い歩いて行ける町 / 高齢者が住みやすい場所

【医療・福祉】 自然豊かで生活(住環境、医)がしやすい町 / 医療機関の充実 / 産婦人科医の誘致

【地域のつながり】 若い人の人付き合いのできる町 地域の付き合いなど / 助け合える住民 / 地域、自治会がまとまり、自分たちで良くしようと活動ができること

【組織・運営の見直し】 他地域の意見を聞く→町内の人では気付かない点もある / 町外の人意見をとり入れる(町民では気づかない点)

【防災】 災害の発生が少ない地域であってほしい

【インフラ】 町中 旧中心街の再開発は出来るのか / 駅前、町中の開発? / 国道153号伊南バイパス沿いのタウンシティの開発 / 気軽に都会へ日帰り出来る / 千人塚を活かす道路整備(観光バス)与田切川もキャンプ利用者は道路がない。 / 街並みを専門家に設計してもらう



【行政】 南箕輪村 ・税金安い / 上下水道料金の軽減 / 町を集約する、合併する / 町から広域的に共通する課題を連携して進めていく

田切地区

◆令和元年11月6日(水)午後7時～ 田切公民館、出席者25名

【イメージ】 企業より収入を多く見込める町 / 安心して暮らせる地域にしたい / 農業と商工業が共存する町 / 安心・安全な田切区 / 農・商・工・観光業の調和のとれた町づくり / 「のんびり暮らせる」まちづくり / 金太郎飴の地域づくりではなく、特徴ある地域について力を注いでいくこと / 生産性のない人はお金が掛る人口増のみでは？

【自然・環境】 田舎のまま自然を残してほしい / 田園風景が残っている地域 / 河川・用水の保全

【農業】 農村の原風景が残る景観が守られた地域 / 農地で収入を増やす対策は(時給850円確保農業) / 管理道を整備する(古川用水には管理道が無い)

【観光】 集客力のある町にする / 観光であればボランティアに頼らない、お客様がお金を落としてくれるものの選定 / 道の駅を中心に花や樹木による景観が整備された地域(桜、花桃、コスモスなど) / 地域の特産がマンネリ化している。変わった特産があれば？検討 / 西山に放牧地を造成し、乳製品などの特産品の生産 / 田切の農地を活用した取り組みが少ない(作物だけではだめ) / “農業公園の整備。摘み取り体験や家庭菜園が楽しめる農業公園の整備 / 甲子廊～月誉平 一体の整備”

【伝統行事・お祭り・文化】 文化的活動に力を注ぐ / 子供がイベントに積極的に参加したいとのデータがあったので、思い出に残るイベントを四季に応じて開催。残ってくれる可能性が大きいのかな / 行事が多すぎる

【買い物・商業】 道の駅田切の里の施設の有効活用を図っていく / 七久保の道の駅KHを取り込み田切の里周辺に活かす / 大きな店でなく特色のある個店が各所に共存する地域(ひねもすや飯島茶寮のような店が共存する地域) / 不安の無い社会(買い物)

【企業等誘致】 人が集まりやすい商業施設を設ける / もしこの先工場誘致の計画が出てきた時、その工場の社員ごと移住してもらえる会社があればいいな。※人口増の可能性大、空き家対策 / 伊南バイパス、農道に大型商業施設が出来れば / “発酵食品会社が連携した「かんでんぱぱ空間」のような地域貢献型の企業誘致 / 内堀醸造+ひかり味噌+〇

〇

【空き家】 人口減少に伴う空き家等の増加が考えられるので、宅地の集中を考慮して、住所の再編(合併等)

【交通弱者】 買い物巡回バスの運行実現 / 車移動ができなくなった時の移動手段の確保 / 医療機関の中心部にあり、老人層には不便なことがある。交通機関がない / 不安の無い社会(公共交通)

【定住促進】 人口流出(減少)を食い止める地域にしたい / 転入者、人口を増やすことを重点 / とにかく人口増又は維持 / 飯島町出身でありながら他市町村に住んでいる身内(息子・娘)が飯島町に住むようにすること / 少子化で結婚しない若者が多く見受けられます。職場で同世代の若者が少ないか、出会いが少ないか分かりませんが、この事が一つの要因ではないか。お見合いの場所等計画 / 親も子供に田切も良い所だともう少し言うべきだ

【子ども】 子供が多い地域に / 子供の笑顔が絶えない地域 / にぎやかな子どもの声が聞こえる地域が良いが・・・ここで子育てをしたいと思える何かを考えたい / 子育てを安心してできる教育に力を注ぐ

【高齢者】 老人ばかりの街でも生き生き感が感じられる地域 / 人口減少を防ぎ、高齢者世帯を支援できるよう取り組む

【医療・福祉】 福祉の充実した住みやすい町 / 健康で安心して暮らす(否の場合)福祉政策 / 福祉に力を注ぐ / 不安の無い社会(健康)

【地域のつながり】 近所の人たちと交流できる / 適度に(傷つけなく)お節介がやける地域 / 困った時に無理なく助け合える地域 / 地域の人々と和気あいあいと暮らせる地域

【組織・運営の見直し】 税金は掛っても出役のない地域 / 全ての世代が仲良く明るく暮らせる地域(ごちゃまぜの空間が確保された集える場で) / お財布に優しい田切。年金が減っていくのに支出(区費、自治会費等)の負担が大きい / 若者、女性の意見・考えを活かす / 各年代が集まらなければ良い未来が出ないのでは / 地域の負担軽減について、地区全体のコンセンサスを取り、整理し、負担感の少ない、財政的にも負担感の少ない地域づくりが必要 / 地域の現状をもう少し分析して分かることから計画ができると思う。強み弱みを明確にすることから始まる / 加入者の負担金が多いため / 協働活動がない地域であれば良い→隣は隣、なにをする人ぞ / 昔の耕地に戻す / 自治会の統合で役職の縮減。耕地に戻せ / 公民館の主事等重い役を行政の方にやってもらう

【防災】 安心安全な地域(防災・減災対策が充実した地域) / 安全に暮らせる地域 / 自然災害が起きた時助け合える地域 / 自然災害に強い地域 / 災害に強い地域 / 中田切



川堤防 1000 年に 1 度の大雨が降った場合。今年の教訓から / 西山に豪雨の場合地域で柔軟に対応できる / 防災体制の充実、消防組織の充実 / 消防団員への報酬、活動補助を思い切って増額する。優遇処置を実施する

【インフラ】 広く歩きやすい道

【行政】 ニート対策を考えよ / 地域づくりのための施策

本郷地区

◆令和元年 10 月 16 日(水)午後7時～ 本郷公民館、出席者 39 名

【イメージ】 生活しやすく住みやすい / 子どもから老人まで安心して助け合って暮らせる本郷 / 子どもや孫、友人たちが来たくなる地域 / 安心して住める地域 / 安心して暮らせる / 格差のない地域 / にぎやかな地域 / 子どもと老人が元気な地域 / 子ども大人もお年寄りも安全に幸せに暮らせる町 / 若者からお年寄りまで元気な地域 / 子どもが自分からイベントに参加協力したくなる地域 / 楽しい地域 / 現状を確保する OR 少しでも前に進める目標、モデルがあればよいのでは? / 今と大きく変わらなくて良い

【自然・環境】 のどかな環境 / 自然環境を残したい / 緑豊か / 自然豊かな社会 / 自然破壊しない / 環境を守る / 自然が失われない地域 / 動物が飼育されていて子どもたちが動物たちとふれあえる地域 / 土地の管理(美化)が大切 / 川や山で遊べる。自然や遊び場を / 今の本郷の自然をこれ以上壊さないように

【農業】 荒れた土地がなくどこもきれいに整備されている / 農村風景を残したい / 農地の活用。 / 有機農業で暮らす町 / 「農住混合」 / 営農組合、本郷農産、そばの里の健全な継続 / 農業ばかりにこだわらない / 「みやましじみの里」にしたらどうか / ミヤマシジミを守る。草刈りの時期を考えて行う / 草刈りを変えること。ミヤマシジミや松虫草を守る / 蝶。アサギマダラ、ミヤマシジミ、蛍、魚。 / 植物。春蘭、松虫草。草刈り / 「プルーンの里」「イチジクの里」作り / 高齢者が生き生き活躍する場を提供する。子どもたちのために給食の食材を作るとか。がんばって生きられるようにして、子どもたちに見せたい

【自然エネルギー】 自然エネルギーの先進地 / 企業、水力発電、木質バイオマス

【観光】 外から来た人たちが集える場所がある(宿、温泉等) / クラインガルデンで転入者を

【伝統行事・お祭り・文化】 現在の伝統行事が引き継げる地域 / お祭りがある / 各自治会での行事を活発にし、明るく元気な本郷区にしたい / 良いところを子どもの頃から学べる

イベント。地域に興味をもってもらう / 子どもたちのためのお祭り発足 / 自治会で学ぶ / 夏祭り、運動会など、多くの人が集う場を大切にする / イベントを / 参加することが楽しくなるような取り組み / 年に数回の自治会イベント必要 / イベント・他の見直しとチェック

【買い物・商業】 コンビニが必要 / 年をとっても買い物ができる地域 / 国道に店が欲しい / 年をとっても住みやすい地域(買い物) / バイパス沿いにコンビニを / そばの販売店をゆきわのあたりに / 本郷中央信号の中央分離帯をなくして、コンビニに行けるように / 近くに店がある。買い物に行くことができる / 店が欲しい。食料品、飲食店 / バイパス沿いの店 / 消防署近辺にコンビニ / 町外の人が食堂などを作っている / 店。移動する店も

【企業等誘致】 働く場所がある / 働く場所の確保 / 若い人が働ける会社を町で用意してもらう / 買い物場所の誘致 / バイパス沿いにお店が欲しい

【空き家】 空き家の活用 / 空き家対策 / 空き家を使って食堂を検討

【交通弱者】 公共交通が利用しやすい地域 / 移動販売車があれば / オンデマンドバスの運行。子ども、学生も利用 / いいちゃんバスについて、利用者の使いやすく家の近くで停車できるように / 高齢者の交通手段、自宅から目的地までの送迎、安価 / 乗合タクシー(安価)

【定住促進】 人口を増やす / 人口も増え / 若者が多く / 若者が多い区にしたい / IターンやUターンで土地新築におおきな補助を検討 / 移住者への町からの説明 / 移住者受入側への情報提供 / 移住者歓迎のセレモニー

【子ども】 子どもたちがたくさんいる / こどもが安心して暮らせる / 子どもたちと道で行きあうまち / 子どもたちが生きていける地域であって欲しい / 自分の子どもが「ここにいたい」とおもえるまち / 子どもたちが本郷に住みたい気持ちを成長しても持ち続けられると良い / 子どもの声、顔が見える / 子どもや若い人がいる地域。 / 子どもたちが安心して遊べる公園がある / まずは遊んであげること / 子どもたちが活動しやすいように / 子どもたちが遊べる場所を / 地域の中に子どもが集える公園が欲しい

【高齢者】 高齢者や一人暮らしが安心して暮らせる / 孫たちと一緒にあそべるまち / 年をとっても住みやすい地域(除草、除雪) / 元気な老人組織 / 高齢世帯となっても安心して暮らしていけるような地域 / 地域の中に老人が集える公園が欲しい

【地域のつながり】 隣近所支え合える / 地域のつながり、ふれあいがいつもある / みんなが顔見知りの開けた地域 / 地域で助け合いができる / 地域のコミュニケーションがとれて連携された社会 / 地域、隣近所で支えあっていけるような / 人と人とのコミュニケーションがとれる明るく楽しい町 / コミュニケーションをとる / 地元の人たちへの交流の大切さを



伝えられると良い / 共助の地域 / 個人のプライバシーを強調せず仲よく助け合う地域 / 有事の際にまとまれる地区。助け合える地区 / 自治会加入の増進 / 本郷の自然にくだしいお年寄りや方々から若い人や子どもに教えてあげる機会をつくる。そのようなことからコミュニケーションもとれるのではないか。 / コミュニティーの場所

【組織・運営の見直し】 地域の負担がなく静かに暮らせる地域 / 組織改革。役員の充て職をなくする / 不要組織を廃止する勇気。合理的な仕組みづくり / これ以上負担が増えない生活

【防災】 消防団を継続。消防OB等での自警団

【インフラ】 安全安心な交通網の完備した地域 / 道の整備がされている地域 / 交通の便もよく / 伊南バイパスの4車線化 / 無人(自動運転)のレーンを本郷から発進する(本郷→役場)

七久保地区

◆令和元年10月18日(金)午後7時～ 七久保林業センター、出席者 31名

【イメージ】 工業と商業が発展できる町 / 若者が多く、元気活発な地域にしたい / 地域の人達と楽しく暮らせる社会がいいです / 人口が減ってもよいので、のんびり気ままにのびのびと暮らせるまち / 若者が生き生きと暮らす町 / ふれあいの多い町 / 活気ある地域づくり / 人口が少なくても住みやすい地域 / 人が安全、安心に住める地域 / 活気のある地域 / 町内外から愛される地域 / 自由に意見が言える自治組織のあるまち(アンケートで「自由に意見が言いにくい」が60%、区には意見を吸い上げる機能なし) / お年寄りにやさしい自治会等の規則のあるまち(自治会長等の軽減、役の免除等) / 無理矢理人口増を求めない雰囲気のあるまち(女性にもっと子供を産めとか独身者に結婚をしるとか大きなお世話) / 互助が進む暮らしやすい地域づくり / 年寄りから子供まで仲良く豊かに暮らせる穏やかな地域 / いろいろ統合的に計画していればとても良い町(七久保)だと思えると思う。何か全て中途半端でセンスが良くないと思うので

【自然・環境】 きれいな町。不要な物、ゴミのない町 / 自然とふれあえる町 山歩き、キャンプなど / 高齢者が暮らしやすい区 ゴミ / 里山の利用とか活動 / 自然の中で学べる学園地域 / 景色がきれいなので”ここは！”というところを中心に素敵な場所の町(七久保)にしたい

【農業】 農作物の多く取れる町 / 農業だけで生活。できれば暮らしていきたい / 樹園地など農産物の地産地消 自給率の高い地域 / 人が集まり仕事が増えて地元の農業もアピールできればと思います / 町の支援(耕作費用)

【観光】 どこにも負けない温泉施設があるまち / 観光の町 / 地域資源を活かした観光地 / 外部地域から適度に人の流通がある程良い / 千人塚から道の駅、B&Gまでをゾーンで開発する / 観光面で充実させたい。特に食べるところ / 千人塚に温泉施設を作る(中央アルプスの眺めがすばらしいので、その山々を見ながら温泉に入る) / 道の駅七久保のアネックスを車側にする / 駐車場の整備 / お土産店 / 体験場所の確保など / 宿泊施設必要 / 遊歩道、散策路 / 千人塚にもっと人が来るように魅力的な施設を建設していく / 観光開発、観光農業、宿泊施設、人が泊まれる地区 / 温泉施設の設置 / 宿泊施設 / 遊べる施設 / シオジ平の開発 / 観光 温泉施設を建設する / 与田切公園の上を跨ぐ吊り橋を作る / 千人塚を昔のように人の集まる公園にする / 千人塚より飯島へと吊り橋をかけ、自由に散策出来るようにする。傘山、越百山、烏帽子岳への登山の拠点になるように / 千人塚を昔のような公園にする / 区有林を間伐してそこをマウンテンバイクコースにしたら

【伝統行事・お祭り・文化】 四季を通じてイベント開催 / 文化面での交流を盛んにする / イベント開催 / イベントの開催 / 花火大会

【情報発信】 情報発信 / 情報発信を多くする

【スポーツ】 スポーツが盛んな地域 / 金メダリスト / 屋根付きの土のグラウンド(子供が雨の日に使える施設) / B&Gとグラウンドを南信レベルのスポーツ公園に

【買い物・商業】 大規模な商業施設がある町 / キャッシュレスへの対応 / 食料品店など食の確保 / 飲食店が多くほしい / 適度な商業(商店)も存在し、地元の生活が地元で賄える地域 / 七久保駅周辺の開発 / 飲み屋 / 高齢者が暮らしやすい区 買い物便利

【企業等誘致】 若者が住みたい町(働く所) / 音楽をテーマにした町づくりをする / レコードコンサート / 町外に買い物に行かなくていいように大きな食料品店を誘致する / 遠く会社へ行かなくても近場で勤めが出来る環境がいい / 町内で働く場所が確保できるような優良な企業、特色のある企業がある / 若者の就労できる職場の選択の幅の拡大できる / 伊那谷の中心となる位置を活かした大規模商業施設誘致 / 働き場所が多くある地域にする。工場以外のものを多く作る。 / 特化した学校の誘致 大学・企業の研究施設誘致 / ある程度の産業(企業)が存在し、地元の雇用は地元で賄える地域 / 働ける場所を確保 / 研究施設の集積する地域づくり



【空き家】 空いている農地・空き家の活用 窓口があればうまくいかないかなあ

【交通弱者】 高齢者が暮らしやすい区 交通手段

【定住促進】 若い世代の住む町 / 小さな図書館で、小さなホールでも、特色のある催しが企画できる人材が育ち、住みつくことができる環境 / 出産の補助金制度(人口増) / 農地付き住宅をピンクゾーン(土地利用構想図:住居ゾーン)に建てる / 農地を宅地に転用しやすくして、住宅を増やしていけたらよい / 若者が住み続けられる / 若者の住宅を確保しやすい 手当金を / 子供3人産んだら100万円あげる / 住んだら100万円 / 町会議員減らしても、住んだ人に金配れ / 町に住んだら御祝金(結婚) / 若者に金を配る / どこに住んでも「住めば都」何かいいことあれば住む 金配れ / 金配れ

【子ども】 子育て支援日本一 / 子供、人が集うエリア / 子供の遊び場所 子育てのしやすい町 / 小学校の継続 教育の充実した地域としてほしい / 体育館は雨の日などすぐ行って使えるようにしてほしい。子育て(小学生)など大変 / 病院と学校と保育園は存在する / 山村留学制度も(子供の数が減ったら)いいのでは / 1区に学校があつてまとまる / 子供が多いこと / 小学校が2クラスあるくらいの子供の人口を確保できる地域

【高齢者】 お金を落としてもらえる町(富裕層の終活)

【医療・福祉】 医療充実 無医地区の早期解消 / 七久保診療所の再開 常勤のお医者さんがほしい

【地域のつながり】 仲の良い人とのつきあいができる町 / 町民同士連携のとれた人の距離が近い町 / 人のつながりがある地域 / 年寄りになっても周りの人から注意・気を使ってもらえる社会 / つながりの濃いコミュニティがある地域 昭和の頃のように / 近所付き合いの大切さ

【組織・運営の見直し】 区と地域づくり委員会のように二重構造のないシンプルな自治組織のあるまち / 自治会の統合 / 個人の負担(役員、消防)の少ない

【女性の参加】 真に男女平等になるまち、女性自治会長が半分くらい出るまち。女性役員も同じ / 女性が気兼ねなくサークルに参加できるようにしたい / 女性の声を活かす / 女性の参加

【防災】 絶対に災害のない町 / 安全な地域 / 安全・安心な町づくり / 常備消防の確立、強化

【インフラ】 道の整備 / 道路など施設整備 / インフラの整備 飯田線、中央道の橋と交通 / 昔からの小路を整備し安全な街づくりへ / 遊歩道を作る / コメリから東へ下りる道(中川へ下りる道)を拡幅する

【行政】 リフォームの補助充実 大工さんへの補助だけでなく、自分でDIYする時の補助を考慮いただきたい / 公民館の利用方法を見直す。図書館などをカフェにしていく 通年営業的

策定経過等

期日	会議名	内容
(H31) 4月16日	町の総合計画と地域の未来についての懇談会	<ul style="list-style-type: none"> 4地区の代表者との懇談会 町の総合計画と地域の未来について
5月13日	第6次総合計画策定 課長会①	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定に向けて
5月16日	第6次総合計画等策定 職員説明会①	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定に向けて
5月17日	第6次総合計画等策定 職員説明会②	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定に向けて
5月22日	飯島町議会 全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定に向けて
6月5日	飯島町 基本構想審議会 R1①	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画について 第6次総合計画策定のためのアンケート調査
7月1日 ～22日	アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定のためのアンケート調査 対象は15歳以上の方から3,000人を抽出
7月19日	第6次総合計画策定 幹事会①	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定について 第5次総合計画の検証作業について
7月22日	各地区との懇談①(本郷地区)	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定の概要について
7月23日	各地区との懇談②(田切地区)	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定の概要について
8月8日	各地区との懇談③(飯島地区)	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定の概要について
8月9日	各地区との懇談④(七久保地区)	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定の概要について
9月20日	第6次総合計画策定 幹事会②	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果、第5次総合計画の検証について 分野別計画の策定について
9月30日	第6次総合計画策定 課長会②	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果、第5次総合計画の検証について 分野別計画の策定について
10月9日	飯島町 基本構想審議会 R1②	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定のためのアンケート調査 第5次総合計画の効果検証について 「まちの将来像」のイメージ
10月16日	飯島町の新しい総合計画に向けた地区懇談会①(本郷地区)	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定に向けた地区懇談会
10月17日	飯島町議会 全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> 第5次総合計画の検証について 第6次総合計画策定に向けたアンケート結果
10月18日	飯島町の新しい総合計画に向けた地区懇談会②(七久保地区)	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定に向けた地区懇談会
11月2日	飯島町子ども議会	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生による提案発表
11月6日	飯島町の新しい総合計画に向けた地区懇談会③(田切地区)	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定に向けた地区懇談会
11月15日	飯島町の新しい総合計画に向けた地区懇談会④(飯島地区)	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画策定に向けた地区懇談会
12月16日	第6次総合計画策定 幹事会③	<ul style="list-style-type: none"> 分野別基本施策について
12月23日	第6次総合計画策定 課長会③	<ul style="list-style-type: none"> 分野別基本施策、国土利用計画について
(R2) 1月15日	第6次総合計画策定 幹事会④	<ul style="list-style-type: none"> 分野別基本施策、土地利用構想について
1月20日	地域計画の策定に向けた打合せ①(本郷地区)	<ul style="list-style-type: none"> 地域計画の策定に向けて
1月21日	地域計画の策定に向けた打合せ①(田切地区)	<ul style="list-style-type: none"> 地域計画の策定に向けて
1月22日	地域計画の策定に向けた打合せ①(飯島地区)	<ul style="list-style-type: none"> 地域計画の策定に向けて
1月25日	地域計画の策定に向けた打合せ①(七久保地)	<ul style="list-style-type: none"> 地域計画の策定に向けて



期日	会議名	内容
	区)	
2月18日	第6次総合計画等策定 幹事会⑤	・ 分野別計画等について
3月18日	飯島町 基本構想審議会 R1③	・ 第6次総合計画への意見について
4月30日	第6次総合計画策定 幹事会⑥	・ 分野別計画等について ・ 国土利用計画について
6月11日	第6次総合計画策定 幹事会⑦	・ 分野別計画等について ・ 新型コロナウイルス感染症対策等について
7月1日	第6次総合計画策定 幹事会⑧	・ 新型コロナウイルス感染症対策等について
7月6日	第6次総合計画策定 課長会④	・ 第6次総合計画について ・ 国土利用計画(第4次飯島町計画)について
7月9日	飯島町 基本構想審議会 R2①	・ 第6次総合計画の策定状況について ・ まちの将来像 キャッチフレーズについて
7月13日	第6次総合計画策定 課長会⑤	・ 第6次総合計画・国土利用計画について
7月17日	飯島町議会 全員協議会	・ 第6次総合計画・国土利用計画の策定状況
7月30日	地域計画の策定に向けた打合せ	・ 地域計画の策定に向けて(田切地区)
8月18日	第6次総合計画策定に向けた懇談会	・ 4地区の代表者との懇談会 ・ 地域計画の策定に向けて
9月2日	第6次総合計画策定 課長会⑥	・ 地域計画について
9月11日	第6次総合計画策定に向けた懇談会	・ 地域計画について
9月28日	第6次総合計画策定 課長会⑦	・ 第6次総合計画・国土利用計画について
10月5日	第6次総合計画策定 課長会⑧	・ 第6次総合計画・国土利用計画について
10月7日	飯島町 基本構想審議会 R2②	・ 地域計画について ・ まちの将来像 キャッチフレーズについて
10月16日	第6次総合計画策定 幹事会⑨	・ 第6次総合計画(素案)・国土利用計画(素案)
10月26日	飯島町議会 全員協議会	・ 第6次総合計画の策定状況について
11月2日	第6次総合計画策定 課長会⑨	・ 第6次総合計画(素案)について ・ 国土利用計画(第4次飯島町計画)(素案)
11月5日	飯島町 基本構想審議会 R2③	・ 第6次総合計画・国土利用計画(第4次飯島町計画)について、町より諮問
11月16日	飯島町議会 全員協議会	・ 飯島町第6次総合計画・国土利用計画(第4次飯島町計画)の審議
11月20日 ～1月10日	パブリックコメント	・ 飯島町第6次総合計画(素案)について ・ 国土利用計画(第4次飯島町計画)(素案)
12月9日	飯島町 基本構想審議会 R2④	・ 飯島町第6次総合計画・国土利用計画(第4次飯島町計画)の審議
(R3) 1月14日	飯島町 基本構想審議会 R2⑤	・ 飯島町第6次総合計画・国土利用計画(第4次飯島町計画)の審議
1月21日	飯島町第6次総合計画 住民説明会	・ 第6次総合計画等について(上通り農業構造改善センター)
2月4日	飯島町 基本構想審議会 R2⑥	・ 飯島町第6次総合計画・国土利用計画(第4次飯島町計画)について、町への答申
2月8日	庁議	・ 飯島町第6次総合計画(案)・国土利用計画(第4次飯島町計画)(案)の承認
2月9日	飯島町議会 全員協議会	・ 飯島町第6次総合計画(案)・国土利用計画(第4次飯島町計画)(案)について
2月26日	令和3年3月 飯島町議会定例会	・ 飯島町第6次総合計画・国土利用計画(第4次飯島町計画)を議決

(諮問文書写)



2企政第231号
令和2年11月5日

飯島町基本構想審議会
委員長 野原 正明 様

飯島町長 下平 洋一



「飯島町第6次総合計画」について（諮問）

「飯島町第6次総合計画」を別添のとおり策定することについて、飯島町基本構想審議会条例（昭和45年12月24日条例第20号）第2条の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。

（添付書類）

- ・ 飯島町第6次総合計画 素案



(答申文書写)

令和3年2月4日

飯島町長 下平 洋一 様

飯島町基本構想審議会

委員長 野原 正明



「飯島町第6次総合計画」について（答申）

令和2年11月5日付け2企政第231号をもって諮問のありました「飯島町第6次総合計画基本構想」について、下記意見を付して別添のとおり答申します。

記

1 意見

計画の中に掲げられた まちの将来像「新しい発想で考える アルプスのまち 豊かな未来・自然・暮らし」には、住民の将来に向けた思いが込められています。人口対策、リニア中央新幹線、超スマート社会、新しい生活様式など、時代はまさに転換の時を迎えたとされています。計画された各施策が、新しい発想をもって力強く展開され、アルプスの麓に、豊かな未来・自然・暮らしが実現することを切に望みます。

飯島町基本構想審議会名簿

任期 令和元年7月1日～令和4年6月30日

区分	氏名	選出区分等	備考
委員長	野原 正明	知識経験者、区長会推薦	任期 R2/7/1～
委員長	伊藤 達夫	知識経験者、区長会推薦	任期～R2/6/30
副委員長	片桐 孝明	農業・林業関係者、農業委員会推薦	
委員	吉川 順平	農業・林業関係者、JA上伊那推薦	
委員	堀内 貞考	農業・林業関係者、林務委員会推薦	
委員	下平 勝治	商工業関係者、商工会推薦	
委員	齋藤 昇二	商工業関係者、商工会推薦	
委員	斉藤 茂	商工業関係者、商工会推薦	
委員	片桐 肇	知識経験者、民生児童委員会推薦	
委員	上山 隆三	知識経験者、教育委員会推薦	
委員	伊藤 敦	知識経験者、いいちゃんまちづくり連絡協議会推薦	任期 R2/7/1～
委員	馬淵 好子	知識経験者、いいちゃんまちづくり連絡協議会推薦	任期～R2/6/30
委員	藤田 智之	知識経験者、信州大学 学術研究院農学系長	
委員	二村 康隆	知識経験者、八十二銀行 飯島支店長	任期 R2/7/1～
委員	服部 靖哉	知識経験者、八十二銀行 飯島支店長	任期～R2/6/30
委員	池上 史彦	知識経験者、アルプス中央信用金庫 飯島支店長	
委員	木村 彩香	公募	
委員	堀川 克己	公募	任期 R2/7/22～



飯島町第6次総合計画

令和3年(2021年)3月 発行

発行 / 長野県 飯島町

